

令和元年度

佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略

～若い世代の希望をかなえ 選ばれるまちを目指して～

評価報告書

令和2年6月

佐久市

目次

「佐久市人口ビジョン」の概要	1
「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要	2
「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価について	3
数値目標・重要業績評価指標（K P I）の評価	
基本目標①	
安心して働き続けることができる佐久市における「しごと」の創生	7
基本目標②	
多くの人に選ばれることができる佐久市における「ひと」の創生	17
基本目標③	
安心して結婚し、子どもを生き育てることができる佐久市における「ひと」の創生	25
基本目標④	
安心して暮らし続けることができる佐久市における「まち」の創生	40
地方創生関係交付金事業の実施結果	51

「佐久市人口ビジョン」の概要（H27.10 策定）

人口ビジョンの位置付け及び対象期間

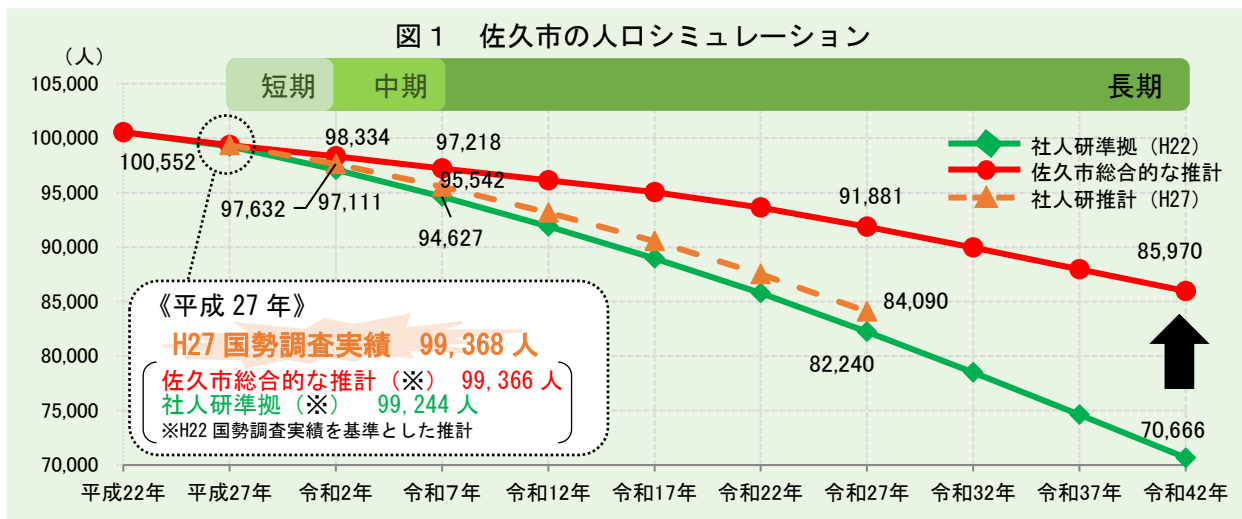
- 1 本市における人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するもの
- 2 本市のまち・ひと・しごと創生の実現に向けて効果的な施策の企画・立案をする上での重要な基礎
- 3 対象期間は、平成 27(2015)年～令和42(2060)年度

人口の現状及び将来推計

- 1 本市の総人口は、平成 22 年をピークに減少に転じ、平成 26 年 10 月 1 日現在の県人口異動調査では**約 99,600 人**
- 2 合計特殊出生率は、全国や県よりは高いが、ほぼ横ばいの状態が続いており、平成 26 年は **1.59**
- 3 社会動態を平成 22 年から平成 26 年の 5 年間の平均で見ると、**100 人/年の社会増**
- 4 国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)の推計に準拠した推計では、今後、令和 22 年には人口は **86,000 人**を下回り、令和 42 年には **71,000 人**を下回る

人口の将来展望

- 1 市民アンケート結果による「理想とする子どもの数」の平均は 2.44 人であり、一定の施策を講じることにより、令和 17 年に合計特殊出生率 **2.07** を実現（国より 5 年早く実現）
- 2 現在の 100 人/年の人口の社会増を、平成 27 年～令和 2 年までは倍の **200 人/年の社会増**とする
- 3 合計特殊出生率の改善による人口の自然増と移住促進等による社会増のさらなる増加により、令和 42 年の人口 **85,970 人**を長期的な展望とする（社人研推計より約 15,000 人増）



佐久市の基本的な姿勢

- ☞若い世代の希望をかなえることにより、合計特殊出生率の上昇を目指す
- ☞各年齢階層にあった転入促進、転出抑制による人口の社会増を目指す

人口 10 万人を目指す

「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要（H31.3 改訂）

基本的な考え方

- 1 佐久市における人口減少と地域経済の縮小の悪循環を断ち切る
- 2 佐久市におけるまち・ひと・しごと創生と好循環を確立する

総合戦略の位置付け

人口ビジョンで描く将来展望を踏まえ、平成 27 年度から令和元年度までの 5 か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたもの

施策の企画・実行に当たっての基本方針

- 1 市民の暮らしを守り、研ぎ澄ます身近な施策
- 2 佐久市の特色や地域資源を生かした施策
- 3 地域の強みや特徴を生かした施策
- 4 高速交通網を生かした施策
- 5 地域間の連携を生かした施策

基本目標

佐久市におけるまち・ひと・しごとの創生に向け、佐久市人口ビジョンを踏まえ、以下の 4 つの基本目標を設定

① 安定して働き続けることができる佐久市における「しごと」の創生

【数値目標】

・市内事業所の従業者数
40,203 人 (H26)
⇒41,100 人 (R1)

② 多くの人に選ばれることができる佐久市における「ひと」の創生

【数値目標】

・人口の社会増
－ (H26)
⇒1,000 人 (R1)

③ 安心して結婚し、子どもを育てることができる佐久市における「ひと」の創生

【数値目標】

・合計特殊出生率
1.59 (H26)
⇒1.69 (R1)

④ 安心して暮らしていることができる佐久市における「まち」の創生

【数値目標】

・「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合
75.1% (H26) ⇒80% (R1)

若い世代の希望をかなえ、選ばれるまちを実現するための新たな取組

若い世代の希望をかなえ、選ばれるまちを実現するため、本戦略に位置付けて新たに実施する主な取組として、以下の取組を推進

佐久市における雇用の安定と仕事づくり	選ばれる佐久市を目指した新しい人の流れづくり	若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現	生きがいをもち、心豊かに暮らすことができるまちの実現
<ul style="list-style-type: none"> ● 市内既存企業の工場建設及び生産設備導入への経費補助 ● 新製品・新技術の研究開発や創業の支援 ● 保健医療分野における視察研修の受入拡大と国際展開 ● 健康長寿を生かした産業の活性化とまちづくりの推進 など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 佐久市における生涯活躍のまちの構築 ● 新たな工業団地の整備 ● 無料職業紹介事業（地方版ハローワーク）の実施 ● インターンシップに参加する学生に対する補助 ● 佐久市奨学金の償還の一部免除 など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育料の負担軽減 ● 子ども福祉医療費給付金支給対象年齢の拡大 ● 妊産婦に対する医療費の助成 ● 未婚の若者を対象とした恋愛・結婚・子育てに関するイベント等の開催 など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 佐久平駅南土地区画整理事業への支援 ● 中心市街地活性化基本計画の策定

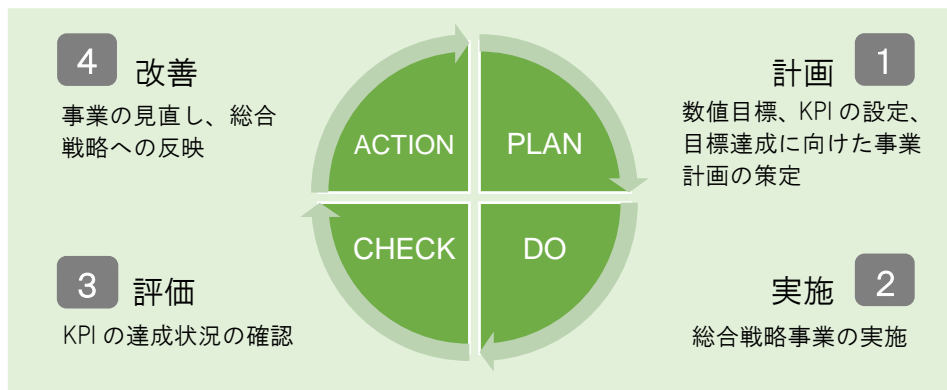
「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価について

1 趣旨

まち・ひと・しごと創生法の施行を受け、市では平成 27 年度に「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略～若い世代の希望をかなえ 選ばれるまちを目指して～(以下「総合戦略」という。)」を策定しました。

総合戦略に基づく事業を着実に推進するため、PDCAサイクルを確立することが必要とされていることから、その進捗について評価し、今後の施策や事業の改善に活用します。

数値目標及び重要業績評価指標(KPI)の進捗状況を客観的に把握し、外部の視点も含めて評価を行い、その結果を市民の皆さんに公表します。



2 総合戦略の進捗状況

総合戦略の令和元年度の施策に係る数値目標及び重要業績評価指標(KPI)の進捗状況の概要は、以下のとおりです。

(1) 進捗管理の方法

実績値が基準値からどの程度進展したかを、目標値と比較して進捗率を計算し、次のとおり評価しています。

達成	概ね達成	未達成	未公表	実績値なし
R1の実績値が目標値以上	R1の実績値が80%以上 100%未満	R1の実績値が80%未満	統計調査結果が未公表のため、現時点では実績値が把握できない	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査の実施がなく、今後も実績値が把握できない 目安値・実績値がともに0の場合

※ 目安値:令和元年度の目標達成に向けて、指標が順調に推移しているかどうかの目安を表す値。

多くの目標において、基準値から目標値に向かって均等に推移することを標準パターンとしています。

ただし、均等な推移が見込めない等これによりがたい場合は、その指標の特性を踏まえて目安値を設定しています。

※ 進捗率=(実績値-基準値)/(目標値(目安値)-基準値)で算出

(2) 数値目標の進捗状況

4つの基本目標における数値目標について、計画達成年度(令和元年度)の目標達成に向けた進捗状況を評価した結果、以下のとおりとなりました。

数値目標	目標値	実績値	進捗区分
基本目標① 安心して働き続けることができる 佐久市における「しごと」の創生			
市内事業所の従業者数 【H26】40,203人 ⇒ 【R1】41,100人	41,110	—	未公表 <small>※経済センサス未実施のため ※R 3.10頃から順次公表予定</small>
数値目標	目標値	実績値	進捗区分
基本目標② 多くの人に選ばれることができる 佐久市における「ひと」の創生			
人口の社会増(計画期間の累計) — ⇒ 【R1】1,000人	1,000	1,147	達成
基本目標③ 安心して結婚し、子どもを生き育てることができる 佐久市における「ひと」の創生			
合計特殊出生率 【H26】1.59 ⇒ 【R1】1.69	1.69	—	未公表 <small>※R2.10公表予定</small>
基本目標④ 安心して暮らし続けることができる 佐久市における「まち」の創生			
「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合 【H26】75.1% ⇒ 【R1】80.0%	80.0	78.0	概ね達成

(3) 重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

63のKPIについて、計画達成年度(令和元年度)の目標達成に向けた進捗状況を評価した結果、以下のとおりとなりました。

【令和元年度分】

基本目標	達成	概ね達成	未達成	未公表	実績値なし	計(%)
①	8(54)	3(20)	1(20.0)	3(20)	0(0)	15(100.0)
②	1(9)	3(27)	6(55)	1(9)	0(0)	11(100.0)
③	11(55)	1(5)	8(40)	0(0)	0(0)	20(100.0)
④	7(41)	7(41)	3(18)	0(0)	0(0)	17(100.0)
計(%)	27(43)	14(22)	18(29)	4(6)	0(0)	63(100.0)

※()内は構成比。

(4) 主な成果について

総合戦略に記載されている「具体的な取組」は、令和元年度の取組内容と主な成果について記載してあります。

基本目標① 安心して働き続けることができる佐久市における「しごと」の創生

基本目標の考え方	市民が安心して暮らしていくためには、仕事があり、経済的に安定していることが重要であるため、まず、仕事の創出・雇用の創出に取り組みます。
-----------------	---

数値目標の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
市内事業所の従業者数 【経済センサス】	目安値	/	—	40,560	—	—	41,100	人	
	実績値	40,203	—	40,327	—	—	—		
	進捗区分	/	実績値なし	概ね順調	実績値なし	実績値なし	未公表		
総合分析 (※ 第2期総合戦略においても、同様の指標により進捗状況を管理していくため、今後も継続して分析を実施)	<p>基本目標①の数値目標は、国の基幹統計調査に基づき設定しています。R1は、2019年度経済センサス基礎調査が令和2年6月1日～3月31日までの期間で実施されていますが、令和2年6月現在、調査結果が公表されていないため、「未公表」となります。</p> <p>「市内事業所の従業者数」は、H28において目安値を下回ったものの、基準値(H26)の40,203人から124人増加しています。企業誘致や企業の経営基盤強化、新たな働き方の創設などによる雇用の確保など、安心して暮らしを支えるための「しごと」の確保に向けた取組を引き続き推進することが必要です。</p> <p>一方、事業所数は基準値(H26)において4,848事業所だったものが、H28では4,730事業所と、減少傾向にあることから、対策の着眼点を広めることも必要です。新たな働き先として企業の新規立地を進めることは継続して注力しながら、これに加えて、働き方や働く職場の多様化を図ることで、地域外からの新たな働き手の流入や、地域内で未就労である女性、高齢者などの層の就労を促すことも重要と考えます。</p> <p>基本目標に係る重要業績評価指標(KPI)は、15項目のうち、R1(最終年度)では、「達成」及び「概ね達成」が11項目、「未達成」が1項目、「未公表」が3項目となりました。</p>								
第2期総合戦略期間に向けた取組方針	<p>住民が安心して暮らしていくためには、「しごと」があり、経済的に安定していることが重要であることから、第1期総合戦略から進める地域に「しごと」をつくる施策に引き続き取り組む必要があります。</p> <p>さらに、本市への移住の傾向や移住者の意向からは、「しごと」は、移住の直接の目的としての位置付けより、他の要因による移住に際して暮らしの安定を担保するためとの位置付けが強い側面もあることから、それを踏まえた対応が重要です。</p> <p>第2期総合戦略では、その仕事があることで人を引き付けるような企業や職種の誘致・創出はもとより、第1期総合戦略で明らかとなった、減少傾向が見られる分野の現状の打開や本市の強みである「健康長寿」を生かした産業への支援を図り、多様な職場や働き方を設けることにも特に注力して、暮らし続けるための安心の提供を推進します。</p>								

(1) 地域産業の競争力強化

ア 市内企業の成長の支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況									
指標名	年度別評価	H25 (基準値)	H26	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
製造品出荷額 【工業統計調査】	目安値	/	(1,937)	1,943	1,949	1,955	1,961	1,970	億円/年
	実績値	1,931	(1,951)	1,934	2,048	2,124	2,218	—	
	進捗区分	/	(順調)	概ね順調	順調	順調	順調	未公表	
進捗状況の分析	<p>H29実績値の主な増要因は、生産用機械器具製造業における大幅な増(約111億円増)によるものです。その他増減額が大きい業種は、電気機械器具製造業の約62億円増、食料品製造業の約92億円減、業務用機械器具製造業の約82億円減などです。</p> <p>※出典先について、H30実績値はR2年(2月28日)県公表の速報値です。なお、産業分類毎の詳細は現時点では不明のため、分析は行っていません。また、R1実績値については、R1の工業統計調査が未実施のため、現時点では「未公表」となります。</p>								

指標名	年度別 評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
空き店舗対策事業を活用した創業件数(計画期間の累計)	目安値		5	10	15	20	25	件
	実績値	—	8	15	20	38	49	
	【商工振興課調】	進捗区分	順調	順調	順調	順調	達成	
進捗状況の分析	空き店舗を活用した出店に係る改修費及び家賃の補助が創業の後押しにつながっていると考えられ、目標値を大幅に上回って達成しました。							

主な成果

●市内既存企業の工場建設及び生産設備導入への経費の補助

- 令和元年度実績 令和元年度から補助金の交付を開始した件数:1件
- (平成30年度実績 平成30年度から補助金の交付を開始した件数:8件)
- (平成29年度実績 平成29年度から補助金の交付を開始した件数:6件)
- (平成28年度実績 平成28年度から補助金の交付を開始した件数:2件)

●企業間連携による新製品及び新技術の共同開発への補助

- 令和元年度実績 補助件数:4件
- (平成30年度実績 補助件数:6件)
- (平成29年度実績 補助件数:4件)
- (平成28年度実績 補助件数:4件)

●製造業事業者に対する経営・技術・知的財産に関する相談支援事業の実施

- 令和元年度実績 活動件数:延922回
- (平成30年度実績 活動件数:延800回)
- (平成29年度実績 活動件数:延539回)
- (平成28年度実績 活動件数:延396回)

●市内企業経営や技術向上、品質管理等に関する助言者の派遣

- 令和元年度実績 活動件数:延315回
- (平成30年度実績 活動件数:延547回)
- (平成29年度実績 活動件数:延309回)
- (平成28年度実績 活動件数:延316回)

●新製品・新技術の研究開発や創業の支援

- ・平成29年度末に新製品・新技術の研究開発や創業の支援を行う「佐久産業支援センター」を商工団体との連携により設立

- 令和元年度実績 産業支援センターによる支援件数:109件
- (平成30年度実績 産業支援センターによる支援件数:107件)

●商店街等の空き店舗を活用した創業経費への補助

- ・空き店舗を賃貸して出店する際の改修費及び賃借料を対象として補助金を交付

- 令和元年度実績 新規出店件数:15件(うち創業11件)
- (平成30年度実績 新規出店件数:20件(うち創業18件))
- (平成29年度実績 新規出店件数:6件(うち創業5件))
- (平成28年度実績 新規出店件数:10件(うち創業7件))

●中小企業の展示会への出展に係る経費への補助

- 令和元年度実績 補助件数:5件
- (平成30年度実績 補助件数:12件)
- (平成29年度実績 補助件数:3件)
- (平成28年度実績 補助件数:6件)

イ 農林水産業の生産性向上とブランド化の推進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
農業法人数 【農政課調】	目安値		23	24	25	26	27	法人	
	実績値	21	23	24	25	27	28		
	進捗区分		順調	順調	順調	順調	達成		
進捗状況の分析	営農相談等を通じた法人化の支援により、農業法人数は着実に増加しており、目標値を達成しました。								
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
認定農業者の年間農業所得総額 【農政課調】	目安値		1,800	1,850	1,900	1,950	2,000	百万円/年	
	実績値	1,788	1,797	1,660	1,790	1,800	1,960		
	進捗区分		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね達成		
進捗状況の分析	大規模農業者の認定期間が終了したこと等により所得総額が一時減少し目標値は達成できなかったものの、期間が満了した者を対象に認定農業者の取得によるメリットの周知を行い、再度の認定を促しているため、今後所得総額も増加していくと見込まれます。今後も認定農業者取得によるメリットの周知を積極的に行います。 【参考:認定農業者数の推移】 H26:240人 H27:291人 H28:309人 H29:307人 H30:296人 R1:306人								
指標名	年度別評価	H25 (基準値)	H26	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
素材生産量 【耕地林務課調】 ※利用可能な木材の伐採量	目安値		(5.8千)	6.1千	6.4千	6.7千	7.1千	7.5千	m ³ /年
	実績値	5.5千	(8.9千)	10.0千	11.5千	10.8千	11.8千	16.5千	
	進捗区分		(順調)	順調	順調	順調	順調	達成	
進捗状況の分析	国産材の利用促進が高まる中で、加工製品について需要があるカラマツ材の素材生産が一時的に増加(公共施設や東京オリンピック・パラリンピック需要等)しているとともに、戦後に植林したものの主伐が始まっていることから、目標値を大幅に上回って達成しました。								

主な成果	
●新品目野菜等の消費拡大	
・新品目野菜等の地元消費拡大や市内産農産物のPRを実施	
令和元年度実績	イベント等における農産物PRの開催:5回、料理研究者によるセミナー開催:2回、首都圏農産物トップセールス:1回
(平成30年度実績)	イベント等における農産物PRの開催:14回、料理研究者によるセミナー開催:2回、関西圏農産物トップセールス:1回)
(平成29年度実績)	イベント等における農産物PRの開催:11回、料理研究者によるセミナー開催:2回、首都圏農産物トップセールス:1回)
(平成28年度実績)	イベント等における農産物PRの開催:14回、料理研究者によるセミナー開催:1回、関西圏農産物トップセールス:1回)
●佐久市望月土づくりセンターにおける良質な堆肥生産の推進	
令和元年度実績	生産量 3,167t 販売額 6,937千円
(平成30年度実績)	生産量 3,259t 販売額 8,081千円)
(平成29年度実績)	生産量 3,232t 販売額 9,266千円)
(平成28年度実績)	生産量 3,580t 販売額 8,912千円)

●佐久市堆肥製産センターにおける良質な堆肥製産の推進

令和元年度実績	製産量 230t	販売額1,642千円
(平成30年度実績	製産量 279t	販売額 1,809千円)
(平成29年度実績	製産量 266t	販売額 1,943千円)
(平成28年度実績	製産量 265t	販売額 1,865千円)

●農産物の新たな佐久市ブランド育成のための導入試験及び農業者への普及促進

・新品目の農作物や新たな農業技術について、市の気候等への適合や経済性について試験し、農業者へ普及

令和元年度実績	冬期間にビニールハウスでの葉物野菜栽培の実施 遊休期間中の水稻育苗ハウスを有効活用できる品目の検討試験の実施 銀座NAGANO、道の駅ヘルシーテラス佐久南で佐久古太きゅうりのPRイベント実施 ミニトマト及びズッキーニの品種選定試験の実施(ズッキーニの1品種がR2から実用化)
平成30年度実績	冬期間にビニールハウスでの葉物野菜栽培の実施 佐久古太きゅうり保存会において「信州の伝統野菜」伝承地栽培認定証票シールの作成 ヘルシーテラス佐久南でのPRイベント実施 佐久古太きゅうり紹介リーフレットの作成
平成29年度実績	冬期間にビニールハウスでの葉物野菜栽培の実施 佐久古太きゅうりが「信州の伝統野菜」の伝承地栽培に認定
平成28年度実績	「カモミール研究会」による出荷量が増加 「佐久古太きゅうり保存会」が農業者により発足

●市内果樹産地の活性化

・市内の果樹産地の活性化のため、各種支援策を実施

令和元年度実績	果樹栽培アシスタント講習の開催数、受講者数:13回、12人 花き栽培アシスタント講習の開催数、受講者数:10回、9人 ブルージョイント栽培に取り組んだ農業者:0人 (普及事業が平成30年度までで廃止となり実績なし) ワイン用ブドウ栽培試験に取り組んだ農業者:1人
平成30年度実績	果樹栽培アシスタント講習の開催数、受講者数:11回、11人 花き栽培アシスタント講習の開催数、受講者数:6回、7人 ブルージョイント栽培に取り組んだ農業者:1人 ワイン用ブドウ栽培試験に取り組んだ農業者:1人
平成29年度実績	果樹アシスタント講習の開催数、受講者数:12回、6人 ワイン用ブドウ栽培試験に取り組んだ農業者:1人
平成28年度実績	果樹アシスタント講習の開催数、受講者数:18回、8人 ブルージョイント栽培に取り組んだ農業者:1人 ワイン用ブドウ栽培試験に取り組んだ農業者:1人

●佐久市産日本酒のブランド化のための酒米作付支援

・佐久市産酒米を使った日本酒の生産拡大を図るため、酒米作付等を支援

令和元年度実績	長野県産育種品種「信交酒545号」の栽培・醸造検討会及び試験醸造酒の試飲会の開催 酒蔵及び生産者に対する酒米意向調査アンケート及び酒米推進会議の実施
平成30年度実績	長野県産育種品種「信交酒545号」の試験栽培及び醸造試験 栽培期間中の現地検討会の実施、醸造試験後の成分分析及び試験醸造酒の試飲会開催
平成29年度実績	長野県産育種品種「信交酒545号、549号」の試験栽培及び醸造試験 栽培期間中の現地検討会の実施
平成28年度実績	長野県産育種品種「信交酒549号」の試験栽培及び醸造試験 栽培期間中の現地での検討会、醸造試験後の成分分析及び試験醸造酒の試飲会開催

●佐久鯉及び水田鮎の生産振興

- 令和元年度実績 水田鮎養殖技術研修の開催数、受講者数:7回、4人
稚魚生産技術研修 研修生なしのため実施せず
小鮎セミナー&水田鮎水揚げ見学会の実施 参加者数:9名
- 平成30年度実績 水田鮎養殖技術研修の開催数、受講者数:8回、7人
稚魚生産技術研修の開催数、受講者数:21回、1人
小鮎セミナー&水田鮎水揚げ見学会の実施 参加者数:22名
- 平成29年度実績 水田鮎養殖技術研修の開催数、受講者数:10回、3人
小鮎セミナー&水田鮎水揚げ見学会の実施 参加者数:40名)

●用排水路等の農業生産基盤の改良・補修

- ・老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための改良・補修を実施
- ・高呂原水路工事の実施、土地改良区等への改修事業負担金の支出

●搬出間伐、主伐による素材生産量実績

- ・適切な森林管理により森林を育成、搬出間伐や主伐による素材生産を促進

令和元年度実績	搬出間伐6.7千m ³	主伐9.8千m ³	計16.5千m ³
(平成30年度実績)	搬出間伐2.9千m ³	主伐8.9千m ³	計11.8千m ³
(平成29年度実績)	搬出間伐3.7千m ³	主伐7.1千m ³	計10.8千m ³
(平成28年度実績)	搬出間伐3.8千m ³	主伐7.7千m ³	計11.5千m ³

●公有林を対象とした森林認証の取得

- ・信州カラマツのブランド化を推進するため、佐久地域の公有林を対象としたFMグループ認証(森林管理)を平成29年7月に取得

●林道田口十石峠線の開設支援

- ・森林整備の促進を図るため、県が実施する林道田口十石峠線の開設に対し、負担金を支出

令和元年度実績	施工延長531m	事業費14,960千円(台風により工事は令和2年度へ繰越、以後負担金なし)
(平成30年度実績)	施工延長179m	事業費21,384千円)
(平成29年度実績)	施工延長100m	事業費32,076千円)
(平成28年度実績)	施工延長 70m	事業費41,202千円)

●林道の計画的な維持管理

- ・林道大河原線をはじめとする市内林道の計画的な維持管理や改良を実施

* 林道大河原線 舗装改良工事の実施状況

(平成29年度実績)	施工延長275m	事業費25,056千円)
(平成28年度実績)	施工延長326m	事業費27,540千円)

ウ 地域資源を活用した観光・交流の促進

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
観光客入込数 【観光課調】 ※1月～12月の暦年集計	目安値		1,600	1,650	1,700	1,750	2,500	千人/年
	実績値	1,514	1,567	1,482	1,688	2,305	—	
	進捗区分		概ね順調	概ね順調	概ね順調	順調	未公表	
進捗状況の分析	H29の信州 destinations キャンペーン、H30実績値から「道の駅ほっとパーク・浅科」、「道の駅ヘルシーテラス佐久南」の入込数新規追加等に伴い、観光客入込数は順調に伸びています。 ※R1実績値は、R2年8月頃に公表されるため、現時点では「未公表」となります。							

指標名	年度別 評価	— (基準値)	H29	H30	R1 (目標値)	単位
東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿国数(計画期間の累計)	目安値		—	—	1	国
	実績値	—	—	—	1	
	【スポーツ課調】	進捗区分	実績値なし	実績値なし	達成	
進捗状況の分析	エストニア共和国柔道チームの事前合宿受入を行い、目標値を達成しました。 今後は、令和3年に延期となった東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿に向けた具体的な調整を進めていきます。					

主な成果

●道の駅「ヘルシーテラス佐久南」を生かした誘客推進

- ・道路利用者の休憩機能や農業をはじめとする地域産業の活性化のための拠点となる「ヘルシーテラス佐久南」が平成29年7月にオープンし、新たな観光拠点施設として誘客推進を図る
- ・佐久市の特長である「健康長寿」をキーワードとした地域内外をつなぐ「ゲートウェイ型 道の駅」として、地元農産物の販売のほか、情報発信による誘客を推進

*利用者数(レジ通過者)

令和元年度実績 377,150名

(平成30年度実績 347,529名)

●ヒルクライム佐久大会の開催

- ・自転車イベント「ヒルクライム」を平成27年度から開催

*出走者の状況(令和元年度は開催なし)

(平成30年度実績 358名)

(平成29年度実績 392名)

(平成28年度実績 398名)

●佐久総合運動公園の整備

令和元年度実績 クロスカントリーコース整備(R1~R2)、第2駐車場整備(R1)

(平成30年度実績 野球場建設(H28~H30))

●内山地区における観光拠点の整備

令和元年度実績 内山牧場キャンプ場サニタリー棟等の整備

(平成30年度実績 内山牧場キャンプ場の改修工事基本計画策定)

●「北斗の拳」×「佐久市」コラボレーション事業の実施

令和元年度実績 観光PRバルーン「北斗の拳バルーン」による県内外プロモーションの実施

(平成30年度実績 観光PRバルーン「北斗の拳バルーン」を製作)

●佐久地域観光戦略会議の仕組みを活用した広域観光の推進

- ・しあわせ信州移動知事室の開催(R1)

- ・佐久地域の市町村、関係団体と連携し、観光資源を生かしたイベント等で佐久地域の特産品や魅力を発信

*活動の状況

令和元年度実績 3回開催

(平成30年度実績 6回開催)

(平成29年度実績 4回開催)

(平成28年度実績 2回開催)

●エストニア共和国ホスタウン交流事業の開催

・平成30年度実績

- エストニア共和国出身の元大関・把瑠都氏をイベントに招き、来場者と交流 (H30.5.3～4)
- エストニアラジオ放送少女合唱団を招き、市内小中学生と交流 (H30.8.20-21)
- エストニア国立男声合唱団の来日公演に併せ、エストニア関連雑貨等を販売 (H30.9.16)
- エストニア音楽祭・佐久及びエストニア・デザイン・デイを開催 (H30.10.10)
- エストニア出身の版画家作品による展覧会を開催、併せてエストニア古楽器等のコンサートを実施 (H30.3.9)
- エストニア及び佐久市の子どもたち及び市民の交流事業を開催 (H30.10.20)

・平成29年度実績

- 市内3か所でエストニアの食品や民芸品などを紹介、販売するエストニアウィークを開催 (H30.2.24-3.2)
- エストニア人のミュージシャンによるミニコンサートや、エストニアの子どもたちと佐久市民による日本文化体験を通じた交流を開催 (H29.10)

●東京オリンピック・パラリンピック競技大会の競技関係者への事前合宿誘致活動の実施

・令和元年度実績

- エストニア共和国オリンピック委員会と事前合宿に関する協定締結 (R1.7.4)
- 世界柔道選手権東京大会に参加するエストニア共和国柔道チームの事前合宿受入 (R1.8.21～8.24)

・平成30年度実績

- エストニア共和国オリンピック組織委員会等を訪問し誘致活動を行った (H30.5.22)
- エストニア陸上競技協会事務局長とスポーツディレクターが競技施設と宿泊施設を視察 (H30.11)
- エストニアオリンピック委員会委員長より、同国の陸上競技について事前合宿の内諾を受け、覚書を交わす (H31.3)

・平成29年度実績

- エストニアオリンピック委員会副事務総長の競技施設、宿泊施設視察の受入れ (H29.7)
- 県スポーツコミッションを通じて、スイスへ競技施設等の資料を送付 (H29.9)
- 駐日大使館訪問:エストニア (H29.6、H29.8、H30.1)

エ 持続可能な循環型社会の構築

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
市内の自然エネルギーを用いた電力自給率 【環境政策課調】	目安値		10.14	11.73	13.32	14.91	16.50	%
	実績値	8.55	11.71	13.78	17.90	21.15	—	
	進捗区分		順調	順調	順調	順調	未公表	
進捗状況の分析	メガソーラー発電事業や市民向けの各種補助制度の推進による太陽光等の自然エネルギーの普及により、目標値は達成すると見込まれます。 ※R1実績値はR2年12月頃に把握が可能となるため、現時点では「未公表」となります。							

主な成果

●木質バイオマスエネルギーの利用促進

- ペレットストーブ、木質バイオマスボイラー・燃料製造設備の購入及び設置経費に対し補助金を交付
- * 木質バイオマス熱利用設備導入事業補助金
 - 令和元年度実績 ペレットストーブ:11件
 - (平成30年度実績 ペレットストーブ: 9件)
 - (平成29年度実績 ペレットストーブ:10件 木質バイオマスボイラー:2件)
 - (平成28年度実績 ペレットストーブ:20件 燃料製造設備:1件)

●太陽光エネルギーの利用促進

・年間日照時間が長い本市の特徴を生かし、補助事業やメガソーラー発電を実施

*太陽光エネルギー普及事業補助金

令和元年度実績 件数:287件 出力:1,932.83kW 35,472千円
 (平成30年度実績 件数:254件 出力:1,856.10kW 37,039千円)
 (平成29年度実績 件数:299件 出力:1,949.69kW 38,879千円)
 (平成28年度実績 件数:286件 出力:1,792.44kW 35,760千円)

*メガソーラー発電所(佐久市茂田井)

令和元年度実績 発電量:3,458,313kWH
 (平成30年度実績 発電量:3,589,284kWH)
 (平成29年度実績 発電量:3,477,746kWH)
 (平成28年度実績 発電量:3,341,440kWH)

●水力発電の利用促進

*老朽化した平根発電所の改修を実施し、平成30年2月に竣工

オ 健康長寿ブランドの構築と国際展開

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
保健医療分野における 視察研修の受入人数 【健康づくり推進課調】	目安値		126	150	160	175	185	人/年
	実績値	111	90	86	161	176	233	
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	順調	順調	達成	
進捗状況の分析	「保健・医療のつばさ」事業における海外からの視察研修受入を推進し、視察国受入件数とともに、受入人数は増加するとともに、視察者の滞在日数も延び、目標値を達成しました。 【参考:視察国受入件数】 H26:8件 H27:6件 H28:8件 H29:14件 H30:14件 R1:18件							
指標名	年度別 評価	— (基準値)	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
ヘルスケア関連産業に おける新製品・新技術 の開発件数(計画期間 の累計) 【商工振興課調】	目安値		3	6	9	12	件	
	実績値	—	2	2	8	12		
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	概ね順調	達成		
進捗状況の分析	H29末に佐久の強み(健康長寿)を生かした産業振興の推進を事業の柱の一つとする佐久産業支援センターを設立し(H30(6月)に一般社団法人化)、ヘルスケア関連産業における新製品・新技術の開発支援を開始したことなどにより、着実にヘルスケア関連の新製品等の開発が増加しています。R1は4件の新製品の開発があり、目標値を達成しました。							

主な成果

●世界に誇る佐久市の「健康長寿」ブランドの構築推進

- ・平成29年度に制作した小学生向けの健康プロモーション映像のオリジナルキャラクターを活用した健康啓発ポスターを3種類制作し、市内小中学校、保育園、医療機関、公民館等へ配布し、掲示を依頼
- ・幼少期からの健康意識を高め、将来を見据えた健康長寿のまちづくりを目指し、オリジナルのアニメキャラクターを用いた小学生向けの健康プロモーション映像を制作

【地方創生関係交付金活用事業】

●「健康長寿」ブランドの国際展開による世界への貢献

・海外向け健康長寿プロモーション映像及びパンフレットの制作

令和元年度:プロモーション映像・パンフレットの多言語化(計9か国語)

(日本語、英語、中国語、ベトナム語、タイ語、マレー語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語)

(平成30年度:プロモーション映像・パンフレットの多言語化(計6か国語))

(平成29年度:プロモーション映像の改訂(ヘルスケア産業・高齢者分野追加)・パンフレット制作(3か国語))

(平成28年度:プロモーション映像の制作)

・「保健・医療のつばさ」事業における海外からの視察研修受入の推進

視察受入れ延べ人数(受入人数×滞在日数)

平成28年度:延べ402人 平成29年度:延べ1,286人 平成30年度:延べ2,061人 令和元年度:延べ2,794人

●ライフステージに応じた健康づくり

・市民モニター322名を対象にセンサーによる歩行姿勢の計測を実施し、市民の健康増進への活用を調査

【地方創生関係交付金活用事業】

●健康長寿関連産業の活性化を推進

・佐久産業支援センターが、健康長寿関連産業の振興に向け、「医療」「ものづくり」「教育」の現場をつなぎ、価値創造型商品・サービスの開発や事業化を目指すプレメディカルケア産業開発支援プロジェクトを開始(H30)及び展開(R1)

【地方創生関係交付金活用事業】

*ヘルスケア関連産業における新製品・新技術の開発

令和元年度実績 開発件数:4件

・ナノ技術を活用した除菌・消臭液放出機の小型モデルの開発

(事業主体:(株)ナノシード)

・車椅子や介護体変換用等の「体に優しい蒸れないクッション」の開発

(事業主体:(有)ケーアンドケーメディカル)

・有機米を用いたあま酒の開発

(株)土屋酒造店)

・繰り返し使える酸素吸入器の商品化

(事業主体:(株)ケー・アイ・エス)

平成30年度実績 開発件数:6件

・プレパレート自動染色・封入ユニットシステム(病理検査で使用する医療機器)量産機の開発

(事業主体:(株)システム・ワン、(株)ナノシード)

・ナノ技術を活用した除菌・消臭液放出機(空間の除菌・消臭等を行う装置)の業務用大型機の開発

(事業主体:(株)ナノシード、(株)システム・ワン)

・歯周ポケット計測器「パム」の開発

(事業主体:(株)ナルコム)

・撥水・防かびチェアクッション(座面)の開発

(事業主体:(有)ケーアンドケーメディカル)

・片足で立った時の安定度を数値化する計測器「バランスチェッカー」の開発

(事業主体:佐久ものづくり研究会(佐久商工会議所))

・ウォーキングポール等のポールへのインクジェット印刷システムの開発

(事業主体:(株)シナノ)

(平成29年度実績 開発件数:0件)

平成28年度実績 開発件数:2件

・プレパレート自動染色・封入システムユニット(病理検査で使用する医療機器)の開発

(事業主体:(株)システム・ワン、(株)イオジェネサポート)

・ナノ化技術を使用したディフューザー(空間の除菌・消臭等を行う装置)の開発

(事業主体:(株)イオジェネサポート、(株)システム・ワン、(株)カウベルエンジニアリング)

(2) 首都圏等からの人材還流及び佐久市における人材育成・雇用対策

ア 新規就農・就業の促進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
新規就農者数(計画期間の累計) 【農政課調】	目安値		6	12	18	24	30	人	
	実績値	—	6	11	20	26	28		
	進捗区分		順調	概ね順調	順調	順調	概ね達成		
進捗状況の分析	就農者数は着実に増加傾向にあり、概ね目標値を達成しました。 今後も首都圏で開催される就農相談会への参加等、佐久市の新規就農支援策のPRを積極的に行い、新規就農者の確保に取り組みます。								

主な成果	
●	新規就農者及び農業後継者の定着のための経費補助 ・国等の給付金の対象とならない新規就農者、農業後継者に対する市単独の補助金を新設 令和元年度実績 補助金交付件数、金額： 2件、300,000円 (平成30年度実績 補助金交付件数、金額： 5件、1,000,000円) (平成29年度実績 補助金交付件数、金額： 4件、1,600,000円) (平成28年度実績 補助金交付件数、金額： 3件、1,900,000円)
●	新規就農希望者研修制度の構築 ・新規就農者を受け入れ、経営継承を目指す高齢農家に対する研修経費に係る補助金を新設 令和元年度実績 相談件数： 1件 (平成30年度実績 相談件数： 1件) (平成29年度実績 相談件数： 2件) (平成28年度実績 相談件数： 2件)
●	UIJターンによる新規就農希望者への情報発信及び定着支援 ・就農相談会での情報発信等により、新規就農希望者の就農を総合的に支援 令和元年度実績 定例就農相談会の開催数、参加者数：9回、14人 首都圏就農相談会の参加： 2回 (平成30年度実績 定例就農相談会の開催数、参加者数：10回、23人 首都圏就農相談会の参加： 2回) (平成29年度実績 定例就農相談会の開催数、参加者数：12回、26人 首都圏就農相談会の参加： 3回) (平成28年度実績 定例就農相談会の開催数、参加者数： 8回、16人 首都圏就農相談会の参加： 1回)

イ 技能・知識の獲得の支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
資格取得支援事業による資格取得件数(計画期間の累計) 【商工振興課調】	目安値		10	20	30	40	50	件	
	実績値	—	1	2	3	4	5		
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する	未達成		
進捗状況の分析	市内企業へのPRを実施しているものの、利用が少ない状況であり、ニーズと制度に乖離があると考えられ、目標値を達成できませんでした。 今後は、他市町村の類似制度等を分析し、補助要綱の改正や更なるPRに取り組んでいきます。								

主な成果

● 商工業者の技能養成にかかる経費への補助

- 令和元年度実績 補助件数1件（技能養成講座・講習等受講者数:60人）
- （平成30年度実績 補助件数1件（技能養成講座・講習等受講者数:10人））
- （平成29年度実績 補助件数1件（技能養成講座・講習等受講者数:26人））
- （平成28年度実績 補助件数1件（技能養成講座・講習等受講者数:41人））

● 従業員及び内定者の資格取得の経費への補助

- 令和元年度実績 補助金を交付した企業数 1社（合格者数 1名、不合格者数 0名）
- （平成30年度実績 補助金を交付した企業数 1社（合格者数 0名、不合格者数 1名））
- （平成29年度実績 補助金を交付した企業数 1社（合格者数 1名、不合格者数 0名））
- （平成28年度実績 補助金を交付した企業数 2社（合格者数 1名、不合格者数 1名））

ウ 多様な人材の雇用促進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
移住者雇用対策事業による移住者雇用件数 (計画期間の累計)	目安値		3	6	9	12	15	件
	実績値	—	1	5	14	17	37	
	【商工振興課調】	進捗区分	努力を要する	概ね順調	順調	順調	達成	
進捗状況の分析	制度をPRしたことにより、着実に市内企業に普及し、目標値を大幅に上回って達成しました。							
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
障がい者実雇用率	目安値		2.00	2.03	2.05	2.07	2.10	%
	実績値	1.92	1.65	1.78	1.94	1.89	1.86	
	【長野労働局調】	進捗区分	努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する	未達成	
進捗状況の分析	理解促進の取組により、就労定着支援サービス利用者が増えるなど一定の成果を得られましたが、目標値を達成できませんでした。 今後も理解促進の取組を継続して実施します。 【参考】H30年度 延べ5人、R1年度 延べ12人							

主な成果

● 移住者の雇用に対する補助の実施

- 令和元年度実績 補助金を交付した企業数 7社（移住者数 20名）
- （平成30年度実績 補助金を交付した企業数 3社（移住者数 3名））
- （平成29年度実績 補助金を交付した企業数 8社（移住者数 9名））
- （平成28年度実績 補助金を交付した企業数 4社（移住者数 4名））

● 障がい者への相談支援体制の充実

- ・働く意欲のある障がい者が就労、さらには雇用の場で定着できるように、市内相談支援事業所及び佐久広域連合障害者相談支援センターと連携し、相談支援に取り組む。

(3) ICT等の利活用による地域産業の活性化

ア 民間企業等のICT活用による効率化と付加価値向上の促進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
テレワーク施設の設置・運営補助による事業所の立地件数及びテレワーク拠点施設におけるサテライトオフィス契約企業数(計画期間の累計)	目安値		1	2	3	4	5	件	
	実績値	—	0	0	0	1	6		
	【商工振興課調】	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する		達成
進捗状況の分析	<p>内訳は、テレワーク施設の設置・運営補助による事業所の立地がH30年に1件、R1に2件の計3件あり、また、R1に整備したテレワーク拠点施設「ワークテラス佐久」におけるR2からのサテライトオフィス等のオフィス契約企業を3件獲得し、目標値を達成しました。</p> <p>働き方改革やICTの発達が進む中、R2から運営が開始された「ワークテラス佐久」を拠点として市内でのテレワーカーやサテライトオフィス設置企業の増加が今後も期待されます。</p>								

主な成果

● 企業訪問による誘致活動の実施

- 令和元年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 8件
- (平成30年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 14件)
- (平成29年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 16件)
- (平成28年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 18件)

基本目標② 多くの人に選ばれることができる佐久市における「ひと」の創生

基本目標の考え方	人口減少の抑制を人口の社会動態に着目して考えれば、人口の流入促進と流出抑制を図ることが重要であるため、佐久市への新しい人の流れづくりに取り組みます。
-----------------	--

数値目標の進捗状況									
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
人口の社会増 (計画期間の累計) 【長野県毎月人口異動調査】	目安値		200	400	600	800	1,000	人	
	実績値	—	246	407	656	982	1,147		
	進捗区分		順調	順調	順調	順調	達成		
総合分析 (※ 第2期総合戦略においても、同様の指標により進捗状況を管理していくため、今後も継続して分析を実施)	<p>基本目標②の数値目標である「人口の社会増(転入者数－転出者数)」は、累計で1,147人の社会増となり、目標値を達成しました。</p> <p>(R1 : 転入者数 3,566人 － 転出者数 3,401人 = 165人) (H30 : 転入者数 3,678人 － 転出者数 3,352人 = 326人) (H29 : 転入者数 3,606人 － 転出者数 3,357人 = 249人) (H28 : 転入者数 3,499人 － 転出者数 3,338人 = 161人)</p> <p>第1期総合戦略期間では、転入者数が転出者数を上回り、各種取組の成果が表れてきています。今後も、佐久市に「住んでみたい」、「住み続けたい」と感じてもらうためにも、高速交通網の充実や医療福祉の充実等の本市の卓越性を国内外へ発信する等、多くの人が集う魅力あふれるまちづくりに資する取組の推進が一層重要です。</p> <p>基本目標に係る重要業績評価指標(KPI)は、11項目のうち、R1(最終年度)では、「達成」及び「概ね達成」が4項目、「未達成」が6項目、「未公表」が1項目となりました。</p>								
第2期総合戦略期間に向けた取組方針	<p>第1期総合戦略による各種取組により、人口の社会増は続いているものの、全国的に人口が減少し、今後ますます地域間競争の激化が見込まれる中、これまでの流れの確実化や更なる強化を図ることで、今後も「多くの人に選ばれる地域」であり続けることが必要です。</p> <p>本市への人の流れの決め手を「暮らしやすさ」と据えたとき、これらは、本市に一定期間関わって実感できる性質のものであり、まず「知る」ことから「来る」ことへ、「来る」ことから「住む」ことへ繋げる段階的アプローチが重要となります。</p> <p>第2期総合戦略では、この段階的アプローチを意識した施策の構築や展開を図り、人口の社会増のトレンドの確実化・一般化を推進します。</p> <p>さらに、市民が本市を「知る」ことで、本市の魅力を再発見し、誇りが醸成されることから、転出の抑制やUターンの増加の効果にも繋げていきます。</p>								

(1) 移住・交流の促進

ア 交流・観光・移住のためのプロモーションの実施

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
市ホームページでのPR動画再生件数 【広報広聴課調】 ※H27動画公開開始	目安値		230	460	690	920	1,150	件/月	
	実績値	—	308	801	1,439	1,171	813		
	進捗区分		順調	順調	順調	順調	未達成		
進捗状況の分析	<p>掲載動画の充実を図っていますが、多くの人々が利用しているYouTubeでも企画番組(動画)を掲載し当該サイトでの再生件数が増加してきていることから、市ホームページでの再生件数は減少してきており、前年度に比べ再生数は減少し、目標値を達成できませんでした。</p> <p>動画の内容や時期(話題性)により再生数に差が生じると考えられるので、その点を加味した番組構成に努めます。</p>								

主な成果

●佐久市の人・街・食・環境等の情報の発信

- ・FMラジオの公開収録に連動した移住促進モニターツアーと公開収録を実施
- ・佐久市の人・街・食・環境や佐久市が取り組む地域活動などを全国へ発信

*放送実績

令和元年度実績 公開収録及び移住促進モニターツアー1回・公開収録1回・首都圏テレビ天気予報映像32回
 (平成30年度実績 定期コーナー放送10回・公開収録イベント1回・首都圏テレビ天気予報映像12回)
 (平成29年度実績 定期コーナー放送18回・公開収録イベント2回)
 (平成28年度実績 定期コーナー放送18回・公開収録イベント2回)

●観光客・移住者増のためのPRの実施

- ・市の情報をホームページで動画配信することにより、市内外の方々に佐久市の魅力を効果的に発信

イ 移住定住促進のための体験機会の提供と経済的支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
空き家バンク登録物件 の契約成立件数 【移住交流推進課調】	目安値		50	55	60	60	60	件/年
	実績値	45	75	70	39	34	32	
	進捗区分		順調	順調	努力を要する	努力を要する	未達成	
進捗状況の分析	空き家バンクの掲載物件数がピーク時と比べ少ないため、成立件数も伸びず目標値を達成できませんでした。 今後は宅建協会と連携し物件数の掘り起こしを行います。							

主な成果

●移住定住推進施設の管理

- ・移住体験住宅を管理し、佐久市での生活体験を実施

*移住体験住宅 利用実績(判明分に限る)

令和元年度実績 利用世帯数 28世帯 うち佐久市へ移住した世帯数 1世帯
 (平成30年度実績 利用世帯数 19世帯 うち佐久市へ移住した世帯数 0世帯)
 (平成29年度実績 利用世帯数 25世帯 うち佐久市へ定住した世帯数 4世帯)
 (平成28年度実績 利用世帯数 32世帯 うち佐久市へ定住した世帯数 6世帯)

●移住促進サポートプラン(移住促進住宅取得費等補助金の交付)

- *移住促進住宅取得費等補助金(佐久市に移住し住宅の新築若しくは中古住宅を購入した者に対し補助金を交付)

令和元年度実績 35世帯
 (平成30年度実績 40世帯)
 (平成29年度実績 22世帯)
 (平成28年度実績 35世帯)

- *移住促進サポート清掃費等補助金(空き家所有者に対し、家財道具処分等にかかる費用を補助)

令和元年度実績 4件(家財道具処分:2件、清掃費:2件)
 (平成30年度実績 0件)
 (平成29年度実績 0件)

ウ 地域おこし協力隊の導入

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況							
指標名	年度別評価	— (基準値)	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
活動後に移住する地域おこし協力隊員の率 【企画課調】	目安値		—	—	—	60.0	%
	実績値	—	—	—	0	57.1	
	進捗区分		実績値なし	実績値なし	努力を要する	概ね達成	
進捗状況の分析	H28から導入し、任用した11名中、7名が活動を終了し、4名が現在活動しています。活動を終了した7名のうち、最長3年間の任期まで活動した4名の隊員は地域に移住し、概ね目標値を達成しました。						

主な成果		
● 地域おこし協力隊により地域の活性化を推進		
* 地域おこし協力隊導入状況（令和2年3月31日現在）		
・平成28年4月1日委嘱 4名		
	活動地域	活動内容
隊員①	臼田地域	健康メニュー・商品開発と地域の賑わいの創出等
隊員②	浅科地域	伝統的地場産業の担い手育成等
隊員③	望月地域	工芸・民芸・書などの特産品等の開発等
隊員④	望月地域	小さな物流システムの構築支援等
隊員①～④は、平成31年3月31日で3年間の任期の満了を迎え、地域に移住している。		
・平成28年8月1日委嘱 1名		
	活動地域	活動内容
隊員⑤	臼田地域	生涯活躍のまち（日本版CCRC）の事業化のコーディネーター等
隊員⑤は、平成30年7月31日で2年間の任期を満了（3年目の延長は、隊員の一身上の都合により行わず）		
・平成29年7月1日委嘱 3名		
	活動地域	活動内容
隊員⑥	佐久全域	新規就農希望者の募集とサポート
隊員⑦	望月地域	中山道望月宿を中心とした地域おこし
隊員⑧	望月地域	荒廃農地の再生による地域おこし
隊員⑦は、平成30年3月31日で隊員の一身上の都合により退職。隊員⑥、⑧は活動中。		
・平成29年11月1日委嘱 1名		
	活動地域	活動内容
隊員⑨	佐久全域	道の駅「ヘルシーテラス佐久南」による農業振興
隊員⑨は、平成31年4月30日で隊員の一身上の都合により退職		
・平成30年4月1日委嘱（活動中） 1名		
	活動地域	活動内容
隊員⑩	望月地域	食による地域おこし
・平成31年4月1日委嘱（活動中） 1名		
	活動地域	活動内容
隊員⑪	佐久地域	地域資源を活用した地域おこし

エ 生涯活躍のまち（日本版CCRC）の構築

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況								
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
生涯活躍のまち（日本版CCRC）構築による市外からの移住者数（計画期間の累計）	目安値		—	—	—	—	50	人
	実績値	—	—	—	—	—	0	
	【移住交流推進課調】	進捗区分		実績値なし	実績値なし	実績値なし	実績値なし	
進捗状況の分析	令和元年11月にサ高住4室が開所となりましたが、台風19号、コロナ禍の影響で入居者が決まっておらず、目標値を達成できませんでした。 今後はサ高住への入居者獲得に向け、臼田地区活性化共同企業体と連携しPR等行っています。							

主な成果	
<p>●生涯活躍のまち（日本版CCRC）の構築</p> <p>【地方創生関係交付金活用事業】（平成30年度まで）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住の動機付けにも必要となる地域の魅力づくりに向けた事業を推進 <ul style="list-style-type: none"> * 佐久市への移住お試しツアー （平成30年度実績 2回開催 22名参加） （平成29年度実績 2回開催 17名参加） （平成28年度実績 1回開催 4名参加） * 移住促進センターにおける相談件数 （平成30年度実績 124件） （平成29年度実績 100件） （平成28年度実績 155件） 	

（2）企業等の誘致、企業等による地方採用・就労の拡大

ア 企業や政府関係機関の誘致

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況								
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
新たな企業等の立地件数（計画期間の累計）	目安値		2	4	6	8	10	件
	【商工振興課調】	実績値	—	1	2	3	5	
	※サテライトオフィスの立地を含む	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する	
進捗状況の分析	H29に企業へ十二川原工業団地用地を売却して以降、市所有の事業用地がない中で、民間所有物件への企業誘致やサテライトオフィスの誘致を進めてきましたが、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題などに起因して世界経済が悪化したことなどから、国内においても製造業を中心に設備投資に慎重さがみられるようになり、R1は新たな企業立地がなく、目標値を達成できませんでした。							

主な成果	
<p>●平成28年度 1社、平成29年度 1社、平成30年度 2社の企業誘致に成功。令和元年度は誘致実績なし。</p> <p>（平成30年度…(株)クリプト・フィナンシャル・システム（本社：東京都新宿区・情報サービス業）、 (株)はたらクリエイト（本社：上田市・情報サービス業・サテライトオフィス）立地）</p> <p>（平成29年度…日精エー・エス・ビー機械（株）（本社：小諸市・プラスチックボトル生産機製造販売）立地）</p> <p>（平成28年度…三河田工業団地ヘシチズンマシナリー（株）（本社：北佐久郡御代田町・NC旋盤等の製造販売）立地）</p>	

●市外から佐久市内へ立地する企業に対する補助

・工場等用地取得に要する経費に対する補助

令和元年度実績 令和元年度から補助金の交付を開始した件数:0件
 (平成30年度実績 平成30年度から補助金の交付を開始した件数:2件(内訳:リスク分散2件))
 (平成29年度実績 平成29年度から補助金の交付を開始した件数:0件)
 (平成28年度実績 平成28年度から補助金の交付を開始した件数:2件(内訳:リスク分散2件))

・工場等の建物・償却資産の固定資産税相当額を補助

令和元年度実績 令和元年度から補助金の交付を開始した件数:1件
 (平成30年度実績 平成30年度から補助金の交付を開始した件数:1件(内訳:リスク分散1件))
 (平成29年度実績 平成29年度から補助金の交付を開始した件数:2件(内訳:リスク分散2件))
 (平成28年度実績 平成28年度から補助金の交付を開始した件数:1件(内訳:リスク分散1件))

●産業立地推進員の訪問実績

・産業立地推進員を2名配置(東京・大阪)し、企業訪問により誘致活動を推進

令和元年度実績 693件
 (平成30年度実績 728件)
 (平成29年度実績 799件)
 (平成28年度実績 770件)

イ 遠隔地勤務等の新たな事業所立地の支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	備考
テレワーク施設の設置・運営補助による事業所の立地件数及びテレワーク拠点施設におけるサテライトオフィス契約企業数(計画期間の累計)	目安値	/	1	2	3	4	5	件	※再掲 基本目標 ①(3)ア
	実績値	—	0	0	0	1	6		
	【商工振興課調】	進捗区分	努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する	達成		
進捗状況の分析	内訳は、テレワーク施設の設置・運営補助による事業所の立地がH30年に1件、R1に2件の計3件あり、また、R1に整備したテレワーク拠点施設「ワークテラス佐久」におけるR2からのサテライトオフィス等のオフィス契約企業を3件獲得し、目標値を達成しました。 働き方改革やICTの発達が進む中、R2から運営開始となる「ワークテラス佐久」を拠点として市内でのテレワーカーやサテライトオフィス設置企業の増加が今後も期待されます。								

主な成果

●企業訪問による誘致活動の実施

令和元年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 8件
 (平成30年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 14件)
 (平成29年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 16件)
 (平成28年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 18件)

ウ 就職支援員による就職相談及び職業紹介

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況						
指標名	年度別評価	— (基準値)	H30	R1 (目標値)	単位	
無料職業紹介事業(地方版ハローワーク)により紹介した求職者を市内企業が採用した人数(計画期間の累計)	目安値		10	30	人	
	実績値	—	11	18		
	進捗区分		順調	未達成		
【商工振興課調】						
進捗状況の分析	H30から始まった事業で、市ホームページや広報紙の掲載による制度の普及により、相談者数は増えていますが、企業が求める人材と求職者の希望する職種の相違があり、採用に繋がらず目標値を達成できませんでした。 今後は、企業側・求職者側それぞれのニーズを把握した上で、ニーズに応える相談体制を構築していきます。					

(3) 若者の市内企業への就職促進と人材育成

ア 地元出身学生の定着・Uターンの促進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況								
指標名	年度別評価	— (基準値)	H29	H30	R1 (目標値)	単位		
佐久市奨学金の償還の一部免除要件を満たし市内に在住している者の数(計画期間の累計)	目安値		13	26	40	人		
	実績値	—	13	24	34			
	進捗区分		順調	概ね順調	概ね達成			
【学校教育課調】								
進捗状況の分析	償還開始者数の減少もありましたが、概ね目標値を達成しました。 全国的な労働力需要の高さにより、本市へ帰郷就労に結実していないと推察されます。奨学生募集時(大学等の進学時)から制度の周知や地元企業の紹介について強化する必要があります(奨学金継続申請者への周知は令和元年度より開始)。							
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
インターンシップ実習生を市内企業が採用する人数(計画期間の累計)	目安値		2	4	6	8	10	人
	実績値	—	1	3	5	6	—	
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	概ね順調	概ね順調	未公表	
【商工振興課調】								
進捗状況の分析	H30実績値は累計6人で概ね順調との結果となりましたが、インターンシップ実習生が受け入れた市内企業の採用試験に申し込まないこともあるためと考えられます。 ※R1実績値はR3年4月頃に把握が可能となるため、現時点では「未公表」となります。							

主な成果

● 佐久市奨学金の一部免除

・平成29年度以降、新たに奨学金を償還する者のうち、償還期間中市内に居住し、かつ就職している者に1/3以内で償還金を免除

令和元年度実績 償還開始26件のうち、10件を免除

(平成30年度実績 償還開始26件のうち、11件を免除)

(平成29年度実績 償還開始29件のうち、13件を免除)

●若者の市内企業への就職促進

- ・インターンシップ事業に参加する学生を受け入れた企業に対し、補助金を交付
 - 令和元年度実績 受入れ企業数:7社(参加学生数:29名。うち市内企業への就職者数:未公表)
 - (平成30年度実績 受入れ企業数:3社(参加学生数:24名。うち市内企業への就職者数:1名))
 - (平成29年度実績 受入れ企業数:7社(参加学生数:11名。うち市内企業への就職者数:2名))
 - (平成28年度実績 受入れ企業数:8社(参加学生数:17名。うち市内企業への就職者数:2名))
- ・インターンシップ事業に参加する学生の交通費及び宿泊費に対し、補助金を交付
 - 令和元年度実績 上記参加学生29名のうち、補助利用者16名
 - (平成30年度実績 上記参加学生24名のうち、補助利用者19名)
 - (平成29年度実績 上記参加学生11名のうち、補助利用者1名)
 - (平成28年度実績 上記参加学生17名のうち、補助利用者3名)

イ 学生等への市内企業のPR支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
イベント・見学会参加企業への就職者数(計画期間の累計)	目安値		10	20	30	40	50	人
	実績値	—	1	8	22	29	47	
【商工振興課調】	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する	概ね達成	
進捗状況の分析	市ホームページや広報紙でのイベントの周知の結果、イベント参加者数は年々増加しており、イベントの参加をきっかけにイベント参加企業との面接や採用に繋がり、概ね目標値を達成しました。							

主な成果

●就職支援員による大学等への訪問

就職支援員 1名

- 令和元年度実績 上田地区 4校、長野地区 5校、松本・諏訪・茅野地区 4校、高崎・前橋地区 7校、甲府・大月・都留地区 5校 計25校
- (平成30年度実績 上田地区 4校、長野地区 5校、松本・諏訪・茅野地区 3校、高崎・前橋地区 7校、甲府・大月・都留地区 4校 計23校)
- (平成29年度実績 上田地区 4校、長野地区 5校、松本・諏訪・茅野地区 4校、高崎・前橋地区 7校、甲府・大月・都留地区 4校 計24校)
- (平成28年度実績 上田地区 4校、長野地区 5校、松本・茅野地区 3校、高崎・前橋地区 7校 計19校)

●市内企業のPRイベント(面接会等)の開催

- 令和元年度実績 (東京)開催回数:1回 参加者数:18名 内就職者数:未公表
(市内)開催回数:1回 参加者数:59名 内就職者数:14名
(佐久地域)参加者数:実績なし 内内定者数:実績なし(新型コロナウイルス感染症防止のため中止)
- (平成30年度実績 (東京)開催回数:1回 参加者数:25名 内就職者数:4名
(市内)開催回数:1回 参加者数:32名 内就職者数:7名
(佐久地域)参加者数:73名 内内定者数:未公表)
- (平成29年度実績 (東京)開催回数:1回 参加者数:15名 内就職者数:4名
(市内)開催回数:1回 参加者数:77名 内就職者数:10名
(佐久地域)参加者数:125名 内内定者数:未公表)
- (平成28年度実績 (東京)開催回数:1回 参加者数:6名 内就職者数:0名
(市内)開催回数:1回 参加者数:35名 内就職者数:7名
(佐久地域)参加者数:112名 内内定者数:21名)

ウ 地域産業を担う人材の育成支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
佐久大学・佐久大学信 州短期大学部からの地 元企業等への就職者数	目安値		49	54	60	65	70	人/年	
	実績値	36	30	16	18	17	21		
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する	未達成		
進捗状況の分析	<p>地元企業等への就職者数は減少傾向となっています。市内出身者は概ね市内への就職をしています が、市外就職も一定割合あり、また、市外出身者は地元へ戻っての就職が多く、目標値を達成できません でした。 なお、R1の目標値である「70」の求人がないことが判明し、KPIの設定を過年度において見直す必要が ありました。</p>								

主な成果									
<p>●地元大学等との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年8月に佐久大学・佐久大学信州短期大学部と包括連携協定を締結(平成29年8月更新) ・佐久大学生の佐久市への実習の受け入れ <ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進課:看護総合実習、地域看護実習 高齢者福祉課:地域看護実習 浅間総合病院:看護学実習等 みすず苑:老年看護学実習 他 ・佐久大学への講師派遣 <ul style="list-style-type: none"> 浅間総合病院:医師、看護師を講師として派遣 健康づくり推進課:保健師、栄養士、歯科衛生士を講師として派遣 他 ・佐久大学短期大学部学生の佐久市への実習受け入れ <ul style="list-style-type: none"> シルバーランドみつい・きしの:介護施設実習 									

基本目標③ 安心して結婚し、子どもを生き育てることができる佐久市における「ひと」の創生

基本目標の考え方	人口減少の抑制を人口の自然動態に着目して考えれば、たくさんの子どもが生まれることが重要であるため、市民が、安心して結婚し、子どもを生き育てたいという希望を実現できる社会環境の醸成に取り組みます。
-----------------	---

数値目標の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
合計特殊出生率 【健康づくり推進課調】	目安値		1.61	1.63	1.65	1.67	1.69	—	—
	実績値	1.59	1.52	1.55	1.61	1.59	—		
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する	未公表		
総合分析 (※ 第2期総合戦略においても、同様の指標により進捗状況を管理していくため、今後も継続して分析を実施)	<p>基本目標③の数値目標は、国の基幹統計調査に基づき算出をしています。R1はR2年10月頃に把握が可能となる予定で、実績値を把握することができないことから、「未公表」となります。「合計特殊出生率」は、基準となるH26から横ばいとなっています。年齢階級別女子人口を前年度と比較すると、出産可能年齢層のうち特に25～44歳で減少幅が大きくなっています。それに伴い、出生数も減少し、特に25～39歳で減少の割合が大きくなっていることから、その層に訴求する、特長ある取組が必要です。</p> <p>基本目標に係る重要業績評価指標(KPI)は、20項目のうち、R1(最終年度)では、「達成」及び「概ね達成」が12項目、「未達成」が8項目でした。</p>								
第2期総合戦略期間に向けた取組方針	<p>人口の自然動態については、国、県の動向より高水準であり、各種取組の成果により合計特殊出生率の一定の改善は図られているものの、依然として人口の自然減の影響による人口減少が継続していることから、第1期総合戦略による取組に加え、更なる対策が必要です。</p> <p>価値観やライフスタイルの多様化などはあるものの、子どもを生き育てたいという希望が確実にある中、まずは既に子どもを生む選択をした家庭に対し、第1子を生むための支援や、第2子、第3子を生き育てするための不安の払しょくなどの対策を強めることが有効です。</p> <p>第2期総合戦略では、他に比肩しない子育て環境の充実を図ることで、子育て世代が不安なく子育てをし、更に生き育てたいと思える環境を形成するとともに、子育て世代の流入といった社会増も誘引していきます。</p>								

(1) 若い世代の経済的安定

ア 雇用の安定と子育て家庭の経済的負担の軽減

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況									
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
雇用対策事業補助金による新規雇用者数(計画期間の累計) 【商工振興課調】	目安値		39	78	117	156	195	人	
	実績値	—	43	92	122	—	—		
	進捗区分		順調	順調	達成	—	—		
進捗状況の分析	雇用対策事業補助金の利用促進により補助を活用した新規雇用者数は順調に推移し、事業最終年度には目標値を達成しました。								

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
第3子以降の出生数 【子育て支援課調】	目安値		123	130	137	144	150	人/年
	実績値	116	133	142	143	118	132	
	進捗区分		順調	順調	順調	概ね順調	概ね達成	
進捗状況の分析	<p>継続して実施してきた各種事業の効果が成果として現れ、概ね目標値を達成しました。 今後も第3子以降の保育料無償化といった子育て支援施策によって第3子以降の出生数の増加に取り組みます。</p>							

主な成果	
●	<p>新規学卒者及び離職者の雇用に対する補助金の交付(平成29年度で終了)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規学卒者を1年以上雇用した中小企業等の事業主に対し、補助金を交付 (平成29年度実績 13社 30件(新規学卒者:30名)) (平成28年度実績 26社 49件(新規学卒者:46名、離職者 3名))
●	<p>保育料の負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> 同一生計の兄弟の年齢などに関係なく、第3子以降の保育園・幼稚園保育料を無料化 令和元年度実績 対象児童数 520人 (平成30年度実績 対象児童数 518人) (平成29年度実績 対象児童数 473人) (平成28年度実績 対象児童数 374人)
●	<p>子ども福祉医療費給付金の支給対象年齢の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで中学校修了前としていた子どもの福祉医療費給付金支給対象年齢を、満18歳の年度末まで拡大 令和元年度実績 対象者15,024人(うち、拡大分2,551人) (平成30年度実績 対象者15,054人(うち、拡大分2,456人)) (平成29年度実績 対象者14,303人(うち、拡大分1,950人))

イ ひとり親家庭・生活困窮者等の自立支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況								
指標名	年度別 評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
自立支援教育訓練給付 事業による資格取得件 数(計画期間の累計) 【子育て支援課調】	目安値		3	6	9	12	15	件
	実績値	—	0	1	1	3	5	
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する	未達成	
進捗状況の分析	<p>広報紙や窓口等において事業の周知を図っていますが、利用につながらない現状もあり目標値を達成できませんでした。 今後も広報や窓口等において事業の周知について積極的に取り組みます。</p>							
指標名	年度別 評価	— (基準値)	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
高等学校卒業程度認定 試験合格支援給付事業 の活用件数(計画期間 の累計) 【子育て支援課調】	目安値		5	10	15	20	件	
	実績値	—	0	0	0	0		
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	未達成		
進捗状況の分析	<p>広報紙や窓口等において事業の周知を図っていますが、利用につながらない現状もあり目標値を達成できませんでした。 今後も広報や窓口等において事業の周知について積極的に取り組みます。</p>							

主な成果

●ひとり親家庭の経済的自立、福祉増進を図るため資金貸付の実施

・ひとり親家庭の経済的自立、福祉増進を図るため、県の貸付制度の相談及び申請窓口事務を実施

令和元年度実績 貸付件数 17件

(平成30年度実績 貸付件数 18件)

(平成29年度実績 貸付件数 10件)

(平成28年度実績 貸付件数 9件)

●ひとり親家庭等の保護者への教育訓練講座受講費への補助

・ひとり親家庭の親が、就労に必要な教育訓練講座を受講した場合、指定講座の修了者に給付金を支給

令和元年度実績 2件

(平成30年度実績 3件)

(平成29年度実績 1件)

(平成28年度実績 1件)

●ひとり親家庭の保護者の就職のための高等技能促進費の支給

・ひとり親家庭の親が、看護師等の経済的な自立に効果的な資格を取得するために1年以上の養成機関等で修学する場合に訓練促進費を支給

令和元年度実績 延 54件

(平成30年度実績 延 45件)

(平成29年度実績 延 47件)

(平成28年度実績 延 44件)

●ひとり親家庭の親の学び直しへの支援

・ひとり親家庭の親又はその子が高等学校卒業程度認定試験の合格を目指し講座を受講する場合、受講料の一部を補助

令和元年度実績 0件

(平成30年度実績 0件)

(平成29年度実績 0件)

(平成28年度実績 0件)

(2) 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

ア 恋愛・結婚の支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	— (基準値)	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
イベント参加者の成婚数(計画期間の累計) 【福祉課調】	目安値		0	5	10	20	組
	実績値	—	0	1	7	9	
	進捗区分		実績値なし	努力を要する	努力を要する	未達成	
進捗状況の分析	H28からR1に開催したイベントで出会った男女9組が婚約又は成婚に至り、一定の成果を得られましたが、目標値を達成できませんでした。 なお、結婚は両性の合意にのみ基づいて成立するものであるから、イベントでの出会いが必ずしも成婚に結びつかない場合もあります。 【参考:その年に開催したイベントで出会った男女の成婚数】 H28:3組 H29:4組 H30:1組 R1:1組						

主な成果

●佐久市結婚支援事業「SAKU♡恋」の開催

・未婚の若者を対象に、恋愛や結婚に関するイベントを開催

令和元年度実績 3回のイベント(婚活パーティー)を開催

※3/1に開催予定であった4回目のイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
参加者 72人(婚活パーティー72人(うち、カップル成立 9組))

累計成婚数9組

(平成30年度実績 4回のイベント(婚活パーティー)を開催

参加者 119人(婚活パーティー 119人(うち、カップル成立 14組))

累計成婚数7組)

(平成29年度実績 4回のイベント(婚活パーティー)を開催

参加者 137人(婚活パーティ 137人(うち、カップル成立 21組))

累計成婚数 1組)

(平成28年度実績 7種18回のイベントを開催

参加者 445人(講座等 263人、出会いパーティ 182人(うち、カップル成立 23組))

イ 安心して出産を迎えるための支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
出産を迎えるための佐久市の支援に対する満足度	目安値	—	—	50.0	50.0	50.0	50.0	%	
	実績値	—	—	80.4	83.6	84.0	87.1		
【健康づくり推進課調】	進捗区分	—	実績値なし	順調	順調	順調	達成		
進捗状況の分析	各種施策の推進により満足度は8割を超え、目標値を大幅に上回って達成しました。								
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
浅間総合病院における出産件数	目安値	—	710	720	730	740	750	件/年	
	実績値	609	709	636	590	500	473		
【浅間総合病院総務課調】	進捗区分	—	概ね順調	概ね順調	努力を要する	努力を要する	未達成		
進捗状況の分析	産婦人科常勤医師が退職したことに伴い、分娩受付件数を制限する必要があったため、目標値を達成できませんでした。 引き続き産婦人科常勤医師の確保に努めます。								

主な成果

●不妊治療及び不育症に要する保険診療適用外の治療費の一部助成

*コウノトリ支援事業補助金

令和元年度実績 交付者 147組(うち、妊娠68組 出生44組)

(平成30年度実績 交付者 129組(うち、妊娠45組 出生24組))

(平成29年度実績 交付者 132組(うち、妊娠57組 出生38組))

(平成28年度実績 交付者 130組(うち、妊娠55組 出生41組))

●妊娠・出産・育児の知識を提供する「パパママ教室」の開催

・妊娠4ヶ月から8ヶ月の妊婦とその家族を対象とした講座を開催

＊パパママ教室

令和元年度実績 実施回数 28回、延参加者数 619人
(平成30年度実績 実施回数 30回、延参加者数 719人)
(平成29年度実績 実施回数 30回、延参加者数 723人)
(平成28年度実績 実施回数 30回、延参加者数 686人)

●「妊婦さんの歯の教室」から個別の妊婦歯科健診への移行

・妊婦の利便性を考慮し、歯科健診や歯科指導を市内の各歯科医院で実施することで、妊婦と生まれてくる子どもの口腔の健康づくりを推進する。

令和元年度実績 市内46歯科医院 受診者数 255人
(平成30年度実績 12回開催 参加者数 107人)
(平成29年度実績 12回開催 参加者数 105人)
(平成28年度実績 12回開催 参加者数 93人)

●「ライフデザイン」講座の開催

・市内中学生、高校生、大学生を対象に、本人の身体づくりや妊娠適齢期、出産適齢期を理解していただくための講座を開催

＊活動の状況

令和元年度実績 高校 2回 大学 1回
(平成30年度実績 高校 1回 大学 2回)
(平成29年度実績 高校 1回 大学 2回)
(平成28年度実績 中学校 1回 高校 1回 大学 2回)

●長野県外での妊婦一般健康診査受診者への助成金交付

＊妊婦一般健康診査県外受診費用補助金

令和元年度実績 1,678,614円
(平成30年度実績 1,395,200円)
(平成29年度実績 1,422,230円)
(平成28年度実績 1,501,488円)

●長野県外での産婦健康診査受診者への助成金交付

＊産婦健康診査県外受診費用補助金

令和元年度実績 137,950円

●「産後ケア事業」の実施

・母親の心身の状況に応じ、助産師が専門相談支援を実施

令和元年度実績 84件

●妊産婦に対する医療費の助成

・早期の適切な受療と医療費負担の軽減を図るため、妊産婦に対し福祉医療費給付金を支給

＊プレママ医療給付金

令和元年度実績 1,068人支給
(平成30年度実績 1,110人支給)
(平成29年度実績 1,139人支給)
(平成28年度実績 838人支給)

●浅間総合病院における快適で魅力ある出産環境の整備

・出産後の良好な経過を目的に、下肢へのアロマテラピーマッサージを実施。アロマテラピーマッサージが受けられることを理由に浅間総合病院での分娩を希望する方も出ている。

・両親学級の実施 分娩の流れと出産時における奥さんへの配慮を旦那さんに学んでいただく教室 毎月3回実施

・母乳学級の実施 出産後、上手に母乳育児が出るための教室 毎月1回実施

●入院助産ができない妊産婦への支援

- ・保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により入院助産ができない妊産婦に対して、妊娠、出産の適正時期に助産施設への入所を支援
 - 令和元年度実績 1件
 - (平成30年度実績 1件)
 - (平成29年度実績 2件)
 - (平成28年度実績 2件)

(3) 子ども・子育て支援の充実

ア 乳幼児の心身の健康な育ちの支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
適切な時期に子どもの発育や発達の確認ができた保護者の割合 【健康づくり推進課調】	目安値		100	100	100	100	100	%	※乳幼児健診の受診及び未受診者への訪問等による支援により、適切な時期に子どもの発育や発達の確認ができた保護者の割合
	実績値	100	100	100	100	100	100		
	進捗区分		順調	順調	順調	順調	達成		
進捗状況の分析	高い健診の受診率を保ちながら、未受診者については電話連絡や訪問等により確認をし、目標値を達成しました。 【参考:受診率】 R1:4か月児健診100.6% 10か月児健診98.4% 1歳6か月児健診98.4% 3歳児健診96.7%								
指標名	年度別評価	H28 (基準値)	H29	H30	R1 (目標値)	単位			
おたふくかぜワクチンの任意接種費用助成事業を利用する1歳児の割合 【健康づくり推進課調】	目安値		85	87	90	%			
	実績値	—	96	94	99				
	進捗区分		順調	順調	達成				
進捗状況の分析	広報紙や健診時などの周知や個別接種実施医療機関の協力により、目標値を達成しました。								
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
園や家庭で、自発的に運動をする年長児童の割合 【子育て支援課調】	目安値		50	55	60	65	70	%	※縄跳び、マット運動、鉄棒などの運動が好きになって自発的に運動する年長児童の割合
	実績値	—	65	68	75	82			
	進捗区分		順調	順調	順調	順調	達成		
進捗状況の分析	保育に運動あそびプログラムを取り入れていることにより運動が身近なものとなり、目標を達成しました。								

主な成果

●乳幼児学級の実施

- ・乳幼児の親子に対する体験・学習等(リズム体操、ミニ運動会等)の教室を市内各地で実施
 - 令和元年度実績 56回開催 延参加者数 2,316人
 - (平成30年度実績 56回開催 延参加者数 1,948人)
 - (平成29年度実績 56回開催 延参加者数 2,136人)
 - (平成28年度実績 56回開催 延参加者数 1,848人)

●「こんにちは赤ちゃん事業」の実施

- ・乳児の健やかな発育・発達のため、生後4か月までの全乳児とその家族に対し、保健師・助産師が訪問指導を実施
 - 令和元年度実績 訪問件数 730件
 - (平成30年度実績 訪問件数 726件)
 - (平成29年度実績 訪問件数 764件)
 - (平成28年度実績 訪問件数 753件)

●乳幼児健康診査の実施

- ・母子保健法に基づき、乳児(4か月児、10か月児)の健康診査と、幼児(1歳6か月児、3歳児)の健康診査及び歯科健康診査を実施。7か月児健康診査は、県内医療機関にて個別健診を実施

令和元年度実績

	4か月児	7か月児	10か月児	1歳半	3歳児
受診児数	669	655	657	730	770
受診率	100.6	85.7	98.4	98.4	96.7

(平成30年度実績)

	4か月児	7か月児	10か月児	1歳半	3歳児
受診児数	755	741	761	742	761
受診率	99.0	86.5	98.2	98.0	98.4

(平成29年度実績)

	4か月児	7か月児	10か月児	1歳半	3歳児
受診児数	755	722	757	801	819
受診率	99.3	86.3	98.3	99.5	99.4

(平成28年度実績)

	4か月児	7か月児	10か月児	1歳半	3歳児
受診児数	767	727	764	716	825
受診率	97.6	85.5	98.2	98.5	98.4

●2歳児歯っぴー教室の開催

- ・3歳児のむし歯を減らすため、2歳2か月児・3か月児とその保護者を対象として、歯科健診や歯科指導、フッ素塗布等を実施

令和元年度実績 11回開催 参加者数 535人(うち、2歳児 262人)

(平成30年度実績 12回開催 参加者数 557人(うち、2歳児 272人))

(平成29年度実績 12回開催 参加者数 474人(うち、2歳児 233人))

(平成28年度実績 12回開催 参加組数 473人(うち、2歳児 231人))

●年長児フッ素洗口事業の実施

- ・永久歯のむし歯予防の効果を高めるため、小中学生を対象に実施しているフッ素洗口事業を保育園・幼稚園の年長児まで対象を拡大し全園で実施

令和元年度実績 公立保育園15園 私立保育園9園 幼稚園6園 計30園

(平成30年度実績 公立保育園15園 私立保育園7園 幼稚園5園 計27園)

●「子育てママさん訪問事業」(養育支援訪問事業)の実施

- ・育児支援が必要な家庭に対し、保健師・助産師が継続して支援を実施

令和元年度実績 121件

(平成30年度実績 120件)

(平成29年度実績 184件)

(平成28年度実績 159件)

●おたふくかぜワクチンの任意接種費用の一部助成

- ・おたふくかぜのまん延防止の為、おたふくかぜワクチン任意接種を希望する1歳児に対し、接種費用の一部を助成

令和元年度実績 助成を利用した接種者数 687人

(平成30年度実績 助成を利用した接種者数 697人)

(平成29年度実績 助成を利用した接種者数 766人)

●「教えて！ドクター」(子ども疾病対応出前講座)の内容をまとめた冊子・アプリの活用

- ・主に0歳から2歳までの保護者を対象に講座を開催。病気に対する知識習得による不安解消と子育て力向上を図る

令和元年度実績 出前講座開催 5箇所(市内保育園・児童館・イオンモール) 延参加者数163人

(平成30年度実績 出前講座開催 29箇所(市内全保育園・全幼稚園) 延参加者数1,404人)

(平成29年度実績 冊子・アプリの改訂(5,000部増刷))

●柳沢式運動あそびプログラムの実施

・巡回指導や全体会を開催。DVD等も使用し、運動あそびプログラムを取り入れた保育を実施

●「キッズキッチン」(食育講座)の開催

令和元年度実績 3回開催 延参加者数 56人(台風により1回中止)
 (平成30年度実績 4回開催 延参加者数 65人)
 (平成29年度実績 4回開催 延参加者数 66人)
 (平成28年度実績 4回開催 延参加者数 68人)

●「オールマイティ1年生事業」の実施

・全国の小学1年生を対象に、市内の体験・学習・文化・観光施設の無料パスを配布

*配布の状況

令和元年度実績 947冊
 (平成30年度実績 1,040冊)
 (平成29年度実績 1,041冊)
 (平成28年度実績 1,009冊)

イ 未就学児の保育・教育環境の充実

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
「子育て支援・児童福祉」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	28.9	—	31.1	32.0	%
	実績値	26.7	—	29.1	—	32.0	34.6	
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし	順調	達成	
進捗状況の分析	障害児保育事業等の保育サービスをはじめ、子育て支援事業や児童館運営等の充実を図ってきたことにより、目標値を達成しました。 ※満足度・重要度市民アンケートはH29年度まで隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります。(H30年度以降は毎年度実施。) ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。							
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
「幼児教育」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	27.9	—	30.1	31.0	%
	実績値	25.7	—	33.2	—	36.8	36.5	
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし	順調	達成	
進捗状況の分析	信州型やまほいく認定制度による自然を生かした保育・教育環境の充実を図ったほか、第3子以降保育料の無料化や通園費補助等ニーズに応じたサービスの提供により、目標値を達成しました。 ※満足度・重要度市民アンケートはH29年度まで隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります。(H30年度以降は毎年度実施。) ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。							

主な成果

●多様なニーズに対応した保育サービスの提供

・延長保育や一時保育、障がい児保育、休日保育、病児・病後児保育等の保育サービスを展開

* 市内施設数 公立保育園15園、私立保育園9園、私立幼稚園5園、私立認定こども園1園（令和元年度）

* 市内施設数 公立保育園15園、私立保育園9園、私立幼稚園6園（平成30年度まで）

* 市内施設数 公立保育園19園、私立保育園9園、私立幼稚園6園（平成28年度まで）

* 延長保育の利用状況

令和元年度実績 25園 延 16,912人

（平成30年度実績 25園 延 15,821人）

（平成29年度実績 25園 延 16,297人）

（平成28年度実績 28園 延 15,853人）

* 休日保育の利用状況（3園実施）

令和元年度実績 延 468人

（平成30年度実績 延 760人）

（平成29年度実績 延 830人）

（平成28年度実績 延 745人）

* 一時保育の利用状況

令和元年度実績 14園 延 4,754人

（平成30年度実績 13園 延 4,540人）

（平成29年度実績 13園 延 4,686人）

（平成28年度実績 13園 延 4,993人）

* 病児・病後児保育の利用状況

《病児保育:浅間総合病院で実施》

令和元年度実績 延 236人

（平成30年度実績 延 276人）

（平成29年度実績 延 260人）

（平成28年度実績 延 203人）

《病後児保育:岸野保育園で実施》

令和元年度実績 延 15人

（平成30年度実績 延 18人）

（平成29年度実績 延 14人）

（平成28年度実績 延 13人）

* 障がい児保育の対象児童数(私立)

令和元年度実績 39人

（平成30年度実績 44人）

（平成29年度実績 29人）

（平成28年度実績 30人）

* 広域入所事業の利用状況(受託)

令和元年度実績 42人

（平成30年度実績 45人）

（平成29年度実績 37人）

（平成28年度実績 43人）

●私立保育園・幼稚園・認定こども園の運営費の補助

令和元年度実績 15園

（平成30年度実績 15園）

（平成29年度実績 15園）

（平成28年度実績 15園）

●通園に係る経費への補助の実施

・最寄りの保育園まで4kmを超える園児の保護者に通園費を補助

* 対象児童数

令和元年度実績 52世帯

（平成30年度実績 55世帯）

（平成29年度実績 53世帯）

（平成28年度実績 38人(対象児童数)）

●ショートステイの実施

・一時的に児童の養育が困難になった場合に、原則7日間以内において児童養護施設での預かり支援を実施

令和元年度実績 0件

（平成30年度実績 2件）

（平成29年度実績 2件）

（平成28年度実績 1件）

ウ 子育て支援拠点の機能の充実

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況								
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
小学生低学年の児童館利用率 【子育て支援課調】	目安値		27.5	27.6	27.8	27.9	28.0	%
	実績値	27.4	28.8	31.2	29.8	30.7	28.6	
	進捗区分		順調	順調	順調	順調	達成	
進捗状況の分析	令和2年3月は新型コロナウイルス感染症防止のため利用自粛を要請したため利用者が減少しましたが、目標値を達成しました。							
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
つどいの広場の利用者の満足度 【子育て支援課調】	目安値		50.0	55.0	60.0	65.0	70.0	%
	実績値	—	50.0	59.1	69.2	70.8	87.4	
	進捗区分		順調	順調	順調	順調	達成	
進捗状況の分析	利用者アンケートをもとに、要望事項を適宜反映し運営を工夫したことにより、目標値を達成しました。							
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
子ども未来館の来館者数 【子育て支援課調】	目安値		98,000	98,500	99,000	99,500	100,000	人/年
	実績値	97,293	102,279	100,174	91,001	101,733	70,800	
	進捗区分		順調	順調	概ね順調	順調	未達成	
進捗状況の分析	平成30年度までは順調に推移していましたが、令和元年度は12月から3月に展示物リニューアル工事により休館、特に3月は新型コロナウイルス感染症防止のための休館もあり、来館者が減少し目標値を達成できませんでした。 今後は、状況に応じてイベント等を開催し来館者の増加に向けて取り組みます。							

主な成果

● 児童館の運営の充実

* 来館者数合計

令和元年度実績	296,517名
(平成30年度実績)	318,558名)
(平成29年度実績)	314,224名)
(平成28年度実績)	299,784名)

● 放課後児童クラブに対し運営費の補助

- ・就労等により保護者が昼間家庭にいない小学生児童に対し、放課後の居場所を提供

令和元年度実績	2箇所
(平成30年度実績)	2箇所)
(平成29年度実績)	2箇所)
(平成28年度実績)	2箇所)

● 「子育てサロン」の開催

- ・就学前の親子の不安を解消するため、就学前児童と保護者等が気軽に集まることができる機会を各児童館で提供

開催箇所数	19箇所
令和元年度実績	273回開催
(平成30年度実績)	291回開催)
(平成29年度実績)	292回開催)
(平成28年度実績)	306回開催)

●「つどいの広場」の開催

・就学前親子の交流・遊びの場を提供

＊開催場所:サングリモ中込、もちづき保育園内、あさしな保育園内、イオンモール佐久平、うすだ健康館

令和元年度実績 824回開催 延利用者数 23,387人
 (平成30年度実績 913回開催 延利用者数 26,808人)
 (平成29年度実績 869回開催 延利用者数 26,085人)
 (平成28年度実績 869回開催 延利用者数 24,791人)

●子ども未来館の運営充実

令和元年度実績 展示製作・設置等の業務を行い、皆が「わくわく」する新たな施設にリニューアル
 (平成30年度実績 常設展示のリニューアルに向け、展示リニューアル実施設計を実施)

エ 子育て支援情報の提供とサークル活動の活性化の支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	※市の子育て支援情報サイト(パパママフレ)へのアクセス数
子育て支援サイトへのアクセス数(計画期間の累計)	目安値		15,000	25,000	35,000	45,000	55,000	件	
	実績値	—	10,958	21,551	29,918	48,108	63,851		
	【子育て支援課調】	進捗区分		努力を要する	概ね順調	概ね順調	順調		
進捗状況の分析	サイトの認知度も定着し、目標値を達成しました。								
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
利用者支援事業の利用件数(計画期間の累計)	目安値		30	240	600	1,200	1,750	件	
	実績値	—	33	170	324	516	682		
	【子育て支援課調】	進捗区分		順調	努力を要する	努力を要する	努力を要する		
進捗状況の分析	利用件数にカウントしていない簡易な問い合わせ(R1:253件)は多い状況ですが、目標値を達成できませんでした。今後は広報や窓口等において事業の周知について積極的に取り組みます。								

主な成果

●既存の各種サービスの的確な利用を支援する利用者支援事業の実施

・教育・保育施設や各種子育て支援事業等の中から適切なものを選択し、円滑に利用できるよう、身近な場所において、子育てコーディネーターによる情報提供や相談助言等を実施

令和元年度実績 166件
 (平成30年度実績 192件)
 (平成29年度実績 151件)
 (平成28年度実績 140件)

●子育て支援情報サイト「パパママフレ」の運営

・利用者が知りたい子育てサービスが容易に検索できるサイトを官民共同で運営

●多胎児をもつ親の会「さくらんぼキッズ」への支援

・多胎児が心身ともに健やかに育つために、同じ悩みを持つ保護者の情報交換の場を提供(年3回開催)

オ 様々な悩みを持つ家庭への支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況								
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
子ども特別対策推進員による家庭児童相談のうち関係機関と連携して対応した数の割合 【子育て支援課調】	目安値		20.0	21.0	22.0	23.0	25.0	%
	実績値	19.9	20.2	21.1	12.5	13.4	14.3	
	進捗区分		順調	順調	努力を要する	努力を要する	未達成	
進捗状況の分析	相談件数自体は増加傾向にありますが、軽微な相談内容であったり、何度か相談を重ねることで相談者自身の意欲向上や悩みの解消に繋がり、他機関との連携を必要としなかった相談が多い状況であったことから、目標値を達成できませんでした。 相談内容に応じて関係機関との連携を密にする中で解決に向けて取り組んでいきます。							

主な成果	
●チャイルドライン支援事業の実施 ・チャイルドラインを運営する団体へ補助金を交付 令和元年度実績 1件 （平成30年度実績 1件） （平成29年度実績 1件） （平成28年度実績 1件）	
●子ども特別対策推進員・家庭児童相談員による相談支援事業の実施 ・子どもに関する様々な相談について、関係機関と連携した相談業務を実施 令和元年度実績 相談実数265件 連携件数38件 （平成30年度実績 相談実数231件 連携件数31件） （平成29年度実績 相談実数232件 連携件数29件） （平成28年度実績 相談実数184件 連携件数39件）	
●療育支援センターの運営による障がい児への療育・機能訓練及び生活指導の実施 ＊通園児の状況 令和元年度実績 利用登録者数 55人 延利用児童数 1,186人 （平成30年度実績 利用登録者数 061人 延利用児童数 1,040人） （平成29年度実績 利用登録者数 82人 延利用児童数 1,161人） （平成28年度実績 利用登録者数 110人 延利用児童数 1,375人）	
●重症心身障がい親子体験事業の実施 ・夏休みに合わせて医療ケアが必要な重症心身障がい児のための日中活動スペースを期間限定で設け、関係機関の専門スタッフによるサポートを実施 令和元年度実績 R1.7.30～8.2(4日間)開催 預かった児童数 延30人 （平成30年度実績 H30.7.31～8.31(4日間)開催 預かった児童数 延32人） （平成29年度実績 H29.7.25～7.28(4日間)開催 預かった児童数 延24人） （平成28年度実績 H28.7.26～7.29(4日間)開催 預かった児童数 延15人）	

●不登校児童生徒への支援の実施

・スクールメンタルアドバイザーによる教育相談、チャレンジ教室の開室や不登校等対策連絡協議会を開催

*学校訪問件数

令和元年度実績 957件 学習:108件(11.3%)、家庭環境:135件(14.1%)、友だち関係:71件(7.4%)

※令和元年度より各学期ごとの集計の積み上げから年度での集計に変更

(平成30年度実績 2,011件 学習:323件(16.1%)、家庭環境:337件(16.8%)、友だち関係:180件(9.0%))

(平成29年度実績 2,331件 学習:353件(15.1%)、家庭環境:325件(13.9%)、友だち関係:278件(11.9%))

(平成28年度実績 1,719件 学習:199件(11.5%)、家庭環境:250件(14.5%)、友だち関係:191件(11.1%))

*チャレンジP-Smile(不登校の児童生徒の親の会)開催数 (チャレンジ教室において開催)

令和元年度実績 5回

(平成30年度実績 6回)

(平成29年度実績 6回)

(平成28年度実績 6回)

*不登校等対策連絡協議会での取組

令和元年度実績 佐久市チャレンジ教室での取組について協議、見学

(平成30年度実績 「いじめ防止のための基本的な方針」についての協議)

(平成29年度実績 「子どもはみんなの宝」ポスター及びリーフレットの作成、配布)

(平成28年度実績 「平成28年度 不登校等対策・取組への提言」を作成し、市内小中高等学校へ配布)

●就学支援委員会専門員による就学相談や就学支援委員会における適正な就学先の判断

・「夏期集中就学相談」等において保護者などから相談を受け、就学支援委員会でその子にとって最も望ましい就学先を判断

*夏期集中就学相談件数

令和元年度実績 98件

(平成30年度実績 89件)

(平成29年度実績 82件)

(平成28年度実績 81件)

*就学支援委員会諮問件数

令和元年度実績 150件

(平成30年度実績 142件)

(平成29年度実績 136件)

(平成28年度実績 130件)

カ 小中学校の教育環境の充実

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
「学校教育」についての 満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	32.0	—	34.0	35.0	%
	実績値	30.7	—	35.3	—	38.9	37.7	
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし	順調	達成	
進捗状況の分析	外国語指導助手 (ALT) や理科支援員の増員、少人数学習を行うための学力向上支援員の配置、また、スクールタクシーの運行による通室支援を含めた日本語教室の充実など、きめ細かな学習支援体制を整え、円滑に運営したことにより、目標値を達成しました。 ※満足度・重要度市民アンケートはH29年度まで隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります。(H30年度以降は毎年度実施。) ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。							

主な成果

●理科支援員の配置

・理科専科の教員が配置されていない小学校に理科支援員を配置し、充実した理科教育及び問題解決学習を実施

令和元年度実績 高瀬小学校、泉小学校、岸野小学校(切原小兼務)、平根小学校、田口小学校、
臼田小学校(青沼小兼務) 各1名配置

(平成30年度実績 高瀬小学校、平根小学校、田口小学校、臼田小学校 各1名配置)

(平成29年度実績 高瀬小学校、田口小学校、臼田小学校、浅科小学校 各1名配置)

(平成28年度実績 高瀬小学校、田口小学校、臼田小学校、浅科小学校 各1名配置)

●学力向上加配職員の配置

・一人ひとりの児童生徒への指導がより深く、充実して行われるよう加配職員の教科性を生かし、学級担任とのチームティーチングを中心に指導

- 令和元年度実績 小学校8名、中学校5名配置
(平成30年度実績 小学校8名、中学校5名配置)
- (平成29年度実績 小学校8名、中学校5名配置)
- (平成28年度実績 小学校8名、中学校5名配置)

●外国籍児童生徒等の日本語の知識等の習得支援

・外国籍児童生徒等の日本語の知識等の習得のために日本語教室(浅科小学校)に日本語支援員を配置。また、日本語教室へのスクールタクシーを運行し、受け入れ態勢を整備

- 令和元年度実績 日本語支援員2名配置(市費1名、県費1名)
スクールタクシー利用者数 8名(在籍者数13名)
- (平成30年度実績 日本語支援員2名配置(市費1名、県費1名))
スクールタクシー利用者数 13名(在籍者数20名)
- (平成29年度実績 日本語支援員2名配置(市費1名、県費1名))
スクールタクシー利用者数 13名(在籍者数18名))
- (平成28年度実績 日本語支援員2名配置(市費1名、県費1名))
スクールタクシー利用者数 11名(在籍者数18名))

(4) 仕事と生活の調和の実現

ア 希望するワーク・ライフ・バランスの実現の支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
「社員の子育て応援宣言！」登録企業数	目安値		—	54	60	66	72	社
	実績値	42	—	73	78	83	83	
【長野県労働雇用課調】	進捗区分		実績値なし	順調	順調	順調	達成	
進捗状況の分析	事業の周知により、「社員の子育て応援宣言！」登録企業数は目標値を達成しました。							

主な成果

●「社員の子育て応援宣言！」登録企業の紹介等による啓発

- ・令和元年度市内事業所123社へ制度周知・登録企業募集チラシを送付。市ホームページ掲載による周知を実施。
- ・平成30年度市内事業所123社へ制度周知・登録企業募集チラシを送付。市ホームページ掲載による周知を実施。
- ・平成29年度市内事業所98社へ制度周知・登録企業募集チラシを送付。市ホームページ掲載による周知を実施。

イ 女性の仕事と子育ての両立を支えるための意識の啓発

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
男女共同参画推進事業者表彰件数	目安値		5	5	5	5	5	件/年
	実績値	5	4	3	3	6	3	
【人権同和課調】	進捗区分		概ね順調	努力を要する	努力を要する	順調	未達成	
進捗状況の分析	表彰制度の積極的な周知に努めましたが、目標値を達成できませんでした。効果が見えにくい指標ですが、今後も継続して事業を実施することにより、働きやすい職場づくりを実現していくための意識啓発に取り組みます。							

主な成果

●子育て世代の女性に対する相談支援の実施(県実施事業)

- ・子育て世帯の女性に対し、就労に関する悩みや不安の軽減を図り、就労に向けての支援を実施

令和元年度実績 就労件数 37件

(平成30年度実績 就労件数 36件)

(平成29年度実績 就労件数 60件)

(平成28年度実績 就労件数 55件)

●男女共同参画の積極推進事業者の表彰

- ・男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる事業者の表彰を行い、模範的な取組を参考に男女ともに働きやすい職場づくりを推進

令和元年度 R2.2.20 イオンモール佐久平において表彰式を実施

(平成30年度 H31.2.12 イオンモール佐久平において表彰式を実施)

(平成29年度 H30.2.91 佐久情報センターにおいて表彰式を実施)

基本目標④ 安心して暮らし続けることができる佐久市における「まち」の創生

基本目標の考え方	市民が生活やライフスタイルの素晴らしさを実感し、生きがい豊かに安心して暮らしていくためには、それを支える「まち」が重要であるため、活力ある「まち」の創生に取り組みます。
-----------------	--

数値目標の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	77.0	—	79.0	80.0	%	
	実績値	75.1	—	78.7	—	75.4	78.0		
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし	概ね順調	概ね達成		
総合分析 (※ 第2期総合戦略においても、同様の指標により進捗状況を管理していくため、今後も継続して分析を実施)	<p>基本目標④の数値目標は、満足度・重要度市民アンケートに基づき設定しています。「『佐久市は住みやすい』と回答する人の割合」について、R1実績値を見ると「概ね達成」になりました。施策と住みやすさの相関を見ると、「住みやすい」と回答した人の評価が高い施策として、「高速交通ネットワーク」、「医療」、「消防・救急」が上位を占めている一方で、「住みにくい」と回答した人の評価が低い施策としては、「林業」、「行財政改革」、「ひとり親家庭支援・低所得者福祉」が上位を占める結果となりました。</p> <p>本市の卓越性として、高速交通網の充実や医療福祉の充実、健康長寿などに代表される「暮らしやすさ」が挙げられ、この卓越性を具現化する施策に関しては満足度が高くなっている一方、その他の施策については、半分以上の市民が満足していない状況にあります。</p> <p>基本目標に係る重要業績評価指標(KPI)は、17項目のうち、R1(最終年度)では、「達成」及び「概ね達成」が14項目、「未達成」が3項目となりました。</p> <p>※満足度・重要度市民アンケートはH29年度まで隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります(H30年度以降は毎年度実施)。</p> <p>※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。</p>								
第2期総合戦略期間に向けた取組方針	<p>住民が生活やライフスタイルの素晴らしさを実感し、生きがい豊かに安心して暮らし続けていくためには、それを支える「まち」が重要であり、第1期総合戦略から進める活力ある「まち」の創生に向けた施策に引き続き取り組む必要があります。また、第1期総合戦略で明らかとなった、満足度の低い施策の充実にも応える必要があります。</p> <p>本市への移住の傾向や移住者の意向からは、「しごと」や「ひと」の創生に基づく動機に加えて、豊かな自然、快適な気候、高速交通網の充実、災害の少なさ、健康長寿といった特徴もたらす「暮らしやすさ」など、「まち」の魅力が移住の動機となった例が多数確認されています。</p> <p>第2期総合戦略では、本市の卓越性に磨きをかけて、「まち」の魅力を更に高みに押し上げることにより「ひと」や「しごと」を呼び込む、「まち」起点の取組を強化するとともに、「まち」の創生を基本目標の筆頭に据えて推進します。</p>								

(1) 持続可能な経済・生活圏の形成

ア 地域の特徴を生かした経済・生活の拠点の形成

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
「土地利用」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	16.2	—	18.7	20.0	%	
	実績値	13.7	—	17.2	—	19.7	18.6		
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし	順調	概ね達成		
進捗状況の分析	<p>市の特性や、それぞれの地域の特徴を生かした土地利用が図られ、目標値を達成しました。</p> <p>※満足度・重要度市民アンケートはH29年度まで隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります(H30年度以降は毎年度実施)。</p> <p>※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。</p>								

主な成果

- 臼田地区の地域交流拠点施設「佐久市臼田健康活動サポートセンター」の活用による健康長寿のまちづくり
 - ・チャレンジショップ、健康教室、つどいの広場等、小さなお子さんから高齢者まで安心して利用できる場所の提供や、まちの賑わいづくりに資する事業を実施
 - 令和元年度実績 開館日数 270日 1日平均入館者数55名
 - (平成30年度実績 開館日数 290日 1日平均入館者数56名)
 - (平成29年度実績 開館日数 292日 1日平均入館者数67名)
- 佐久市都市計画マスタープランの全面改定
 - ・少子高齢化や人口減少など社会情勢の変化を踏まえ、機能集約型の都市構造を実現するとともに、本市の強みや特性を生かした都市づくりを推進するため、平成30年3月に佐久市都市計画マスタープランを全面改定
- 佐久平駅南地区開発のための調査・支援の実施
 - ・土地区画整理準備組合による佐久平駅南地区の土地区画整理事業に対し、技術的・財政的支援を実施
 - 令和元年度実績 路線測量、実施設計、換地設計等業務の実施支援、仮換地指定
 - (平成30年度実績 主たる土地利用者の決定。仮換地指定に向けた換地設計や道路築造に係る設計等への支援)
 - (平成29年度実績 区域の農振除外及び都市計画決定。佐久平駅南土地区画整理組合の設立)

イ 地域交通ネットワークの整備

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
「地域交通ネットワーク」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	34.7	—	34.9	35.0	%
	実績値	34.6	—	28.2	—	31.6	27.1	
	進捗区分		実績値なし	概ね順調	実績値なし	概ね順調	未達成	
進捗状況の分析	高齢者が増加する中、公共交通への多様な要望に応えきれていない現状があることから、目標値を達成できませんでした。 引き続き市民ニーズを把握し、公共交通網の最適化を図っていく必要があります。 ※満足度・重要度市民アンケートはH29年度まで隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります(H30年度以降は毎年度実施)。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。							
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
公共交通延べ利用者数 【生活環境課調】	目安値		107,418	111,814	116,209	120,605	125,000	人/年
	実績値	103,023	104,871	112,079	114,095	113,022	104,391	
	進捗区分		概ね順調	順調	概ね順調	概ね順調	概ね達成	
進捗状況の分析	市内循環バスの新設、市内巡回バスのデマンド化及び廃止代替バスの日中便のデマンド化をH29(10月)に実施し、概ね順調に進捗していましたが、これに伴い見込んでいたデマンドタクシー利用者数及び市内循環バス利用者数の増加に比べ廃止代替バス利用者(主に通学に利用している学生)数の減少が上回ったため、延べ利用者が減少となり、また、令和元年度は、2月及び3月の新型コロナウイルス感染拡大防止施策の影響を受け利用者が減少し、特に、休校措置により登校に毎日利用する児童生徒が乗車しなかったため利用者数が激減しましたが、概ね目標値を達成しました。							

主な成果

- 都市計画道路の整備
 - ・市街地における安心・安全な生活環境の向上を図るため、都市計画道路の整備を実施
 - * 跡部臼田線 道路新設工事

●地域や施設を結ぶ幹線道路の整備

・幹線道路の整備により、安全・安心でスムーズな交通を確保

＊幹線道路拡幅改良事業

- 令和元年度実績 2箇所(市道65-7号線(中石堂・長者原))
- (平成30年度実績 2箇所(市道65-7号線(中石堂・長者原)))
- (平成29年度実績 2箇所(市道65-7号線(中石堂・長者原)))
- (平成28年度実績 6箇所(創錬の森周辺道路ほか5箇所))

＊東西幹線の整備

- 令和元年度実績 1箇所(東西幹線第3期工区(抜井地区))

＊歩道整備を伴う道路改良事業

- 令和元年度実績 1箇所(市道2-1号線(岩村田踏切))
- (平成30年度実績 1箇所(市道2-1号線(岩村田踏切)))
- (平成29年度実績 3箇所(コスモホールアクセス道路ほか2箇所))
- (平成28年度実績 3箇所(同上))

●佐久市地域公共交通網形成計画の推進

・平成29年3月に策定した、佐久市地域公共交通網形成計画に基づき、平成29年10月から新公共交通体系に移行

- 令和元年度実績 運転手の不足による路線バスの廃止・減便に対し、代替交通としてデマンドタクシーを整備
市内循環バスのダイヤ改正、デマンドタクシーの運行エリア・運行日拡大により利便性が向上
- (平成30年度実績 デマンドタクシーの利用方法周知及び停留所整備を推進し、前年度より利用者が増加)
- (平成30年度実績 ラッピングバスの導入等、市内循環バス利用促進に取り組み、前年度より利用者が増加)
- (平成29年度実績 高齢者の利用増進を図るため、日中にデマンド交通に移行し、前年度より利用者が増加
北陸新幹線の接続や新たな交通接続点を設け、市内循環バスダイヤを策定
(平成29年10月から運行))

ウ 安心して暮らすことのできる保健・医療・福祉体制の構築

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
「医療」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	43.0	—	48.0	50.0	%
	実績値	39.4	—	45.8	—	46.7	47.5	
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし	概ね順調	概ね達成	
進捗状況の分析	市民の医療環境を充足するための各種施策を実施することで、市民満足度の向上が図られ、概ね目標値を達成しました。 ※満足度・重要度市民アンケートはH29年度まで隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります(H30年度以降は毎年度実施)。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。							
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
「高齢者福祉・介護保険」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	30.0	—	33.0	35.0	%
	実績値	26.1	—	29.9	—	28.5	27.0	
	進捗区分		実績値なし	概ね順調	実績値なし	概ね順調	未達成	
進捗状況の分析	高齢者サービスのニーズが多様化していることから満足度が低下したと考えられ、目標値を達成できませんでした。 今後は、多様化したニーズを把握することに努め、それを反映した各種取組を推進していきます。 ※満足度・重要度市民アンケートはH29年度まで隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります(H30年度以降は毎年度実施)。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。							

指標名	年度別評価	H25 (基準値)	H26	H27	H28	H29	H30 (目標値)	単位	備考
健康寿命の延伸(男性) 【高齢者福祉課調】	目安値		(延伸)	延伸	延伸	延伸	延伸	歳	前後3年間で算定
	実績値	79.46	(79.89)	80.08	80.30	80.41	80.76		
	進捗区分		(順調)	順調	順調	順調	達成		
進捗状況の分析	「新しい保健」をはじめとした、将来にわたり健康長寿であり続けるための各種事業を積極的に展開してきたことにより、健康寿命は延伸を続け、目標値を達成しました。								
指標名	年度別評価	H25 (基準値)	H26	H27	H28	H29	H30 (目標値)	単位	備考
健康寿命の延伸(女性) 【高齢者福祉課調】	目安値		(延伸)	延伸	延伸	延伸	延伸	歳	前後3年間で算定
	実績値	83.58	(84.32)	85.12	85.54	85.42	85.42		
	進捗区分		(順調)	順調	順調	順調	達成		
進捗状況の分析	「新しい保健」をはじめとした、将来にわたり健康長寿であり続けるための各種事業を積極的に展開してきたことにより、目標値を達成しました。								

主な成果

●佐久市立国保浅間総合病院の整備と経営基盤強化

- ・地域の中核病院として充実した医療の提供と住民の満足度の向上を図るため、計画的な整備を実施
 - * 中央棟建設工事の状況
 - (平成28年度実績 <2期工事>手術室、糖尿病センター、医局、講堂等の整備 (平成29年1月竣工、3月開院))
 - * 中央棟完成に伴う手術件数等の増加
 - 令和元年度実績 手術件数実績 2,563件 (平成30年度実績 2,533件)
 - (平成30年度実績 手術件数実績 2,533件 (平成29年度実績 2,383件))
 - (平成29年度実績 手術件数実績 2,383件 (平成28年度実績 2,356件))
 - 糖尿病外来患者数実績 14,206人 (平成28年度実績 12,563人))
 - * 医療機器等整備の状況
 - 令和元年度実績 多用途透析装置 外25式・台
 - (平成30年度実績 X線透視診断装置 外40式・台)
 - (平成29年度実績 生理検査超音波診断装置 外60式・台)
 - (平成28年度実績 中央手術室映像システム 外100式・台)
- ・浅間総合病院の医師の市内への住宅取得経費に対し貸付を実施
 - 令和元年度実績 1件
 - (平成30年度実績 0件)
 - (平成29年度実績 0件)
 - (平成28年度実績 2件)

●レスパイトケアの実施

- ・在宅における医療的ケアが必要な障がい児・障がい者の介護を行う方の負担軽減を目的として、障がい児・障がい者の方々を一時的に病院でお預かりする
 - 令和元年度実績 利用者数9人 112日間
 - (平成30年度実績 利用者数8人 95日間)
 - (平成29年度実績 利用者数2人 22日間(平成29年10月1日事業開始))

●過疎地における医療供給の安定化

- ・望月地域の中核的医療機関である川西赤十字病院と過疎地域の出張診療所への財政支援により、川西地域における医療供給の安定化を図る
 - * 川西赤十字病院への財政支援 (川西保健衛生施設組合を介し、運営費を補助)
 - * 布施出張診療所開設への財政支援
 - * 湯沢無医地区出張診療所開設への財政支援

●老人福祉施設の整備

・佐久市特別養護老人ホーム「シルバーランドみつい」「シルバーランドきしの」の老朽化等に伴う施設及び設備の改修を計画的に実施

令和元年度実績 「シルバーランドみつい」の電気設備等を改修
 (平成30年度実績 「シルバーランドみつい」の空調設備等を改修)

・社会福祉法人ジェイエー長野会が実施する、佐久広域連合から移管された施設(特別養護老人ホーム・養護老人ホーム うすだコスモ苑)の整備に対し、補助金の交付と地域総合整備資金の貸付けを実施

●佐久医療センターの救命救急等の医療運営に対する補助

・佐久医療圏の地域医療を安定的に確保するため、救命救急及び周産期医療の機能を担う佐久医療センターの運営に対する財政支援を実施することにより、佐久地域における高度・専門医療提供体制を確保

※佐久医療センター運営への財政支援(佐久広域連合を介して補助)(H28～)

●地域包括ケアシステムの強化

・高齢者が住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けることができるよう、地域の自主性にに基づき、「住まい」「医療」「介護」「生活支援・介護予防」に係るサービスの包括的な確保を目指し、支え合いの仕組みづくりを推進

エ 広域的な連携の推進

重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
「広域連携」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	17.9	—	19.3	20.0	%
	実績値	16.5	—	24.9	—	20.5	23.1	
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし	順調	達成	
進捗状況の分析	広域連合や一部事務組合による事務の共同処理に取り組むほか、佐久地域定住自立圏構成市町村間の連携強化を図るなど市町村連携を強力を進めており、目標値を達成しました。 ※満足度・重要度市民アンケートはH29年度まで隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります(H30年度以降は毎年度実施)。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。							

主な成果

●佐久地域定住自立圏における連携強化

・将来にわたり安心して暮らすことができる佐久地域を目指すため、第二次佐久地域定住自立圏共生ビジョンに基づき、12分野21項目における各種施策を関係市町村と連携・協力し推進

●新クリーンセンター整備の推進

・将来にわたり佐久地域の安全・安定・安心なごみ処理体制を維持するため、佐久市・軽井沢町・立科町・御代田町の1市3町で構成される佐久市・北佐久郡環境施設組合により、令和2年11月末の完成を目指し工事を実施

(2) 人口減少を踏まえた既存ストックのマネジメント強化

ア 公共施設等の適正管理と有効活用

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
「公共施設」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	20.0	—	20.0	20.0	%	
	実績値	15.9	—	20.3	—	21.1	27.6		
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし	順調	達成		
進捗状況の分析	<p>H29(3月)に「公共施設等総合管理計画」を策定し、これに基づいて公共施設の適正化に取り組んでいます。R1は、浅科支所の複合化など具体的な事業が進展していることに加えて、指定管理者制度など、民間活用の取組について、一定の市民理解が得られ、目標値を達成しました。</p> <p>今後も、施設の複合化など適正化の取組やその成果を市民に明確に示すとともに、管理運営の効率化など地道な適正化に取り組むことで市民の満足度の向上を図る必要があります。</p> <p>※満足度・重要度市民アンケートはH29年度まで隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります（H30年度以降は毎年度実施）。</p> <p>※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。</p>								

主な成果	
● 公共施設等の総合的なマネジメントの推進	
・令和元年度実績	公共施設等の適正化を推進するため、行政改革推進本部会議の議を経て個別施設計画の策定方針を定めるなど、全庁的な取組体制を整備
〔・平成30年度実績	公共施設等の適正化を推進するため、個別施設計画に関しての職員向け研修を開催

イ 空き家等の利活用

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	備考
テレワーク施設の設置・運営補助による事業所の立地件数及びテレワーク拠点施設におけるサテライトオフィス契約企業数(計画期間の累計) 【商工振興課調】	目安値		1	2	3	4	5	件	※再掲 基本目標 ①(3)ア
	実績値	—	0	0	0	1	6		
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する	達成		
進捗状況の分析	<p>内訳は、テレワーク施設の設置・運営補助による事業所の立地がH30年に1件、R1に2件の計3件あり、また、R1に整備したテレワーク拠点施設「ワークテラス佐久」におけるR2からのサテライトオフィス等のオフィス契約企業を3件獲得し、目標値を達成しました。</p> <p>働き方改革やICTの発達が進む中、R2から運営開始となる「ワークテラス佐久」を拠点として市内でのテレワーカーやサテライトオフィス設置企業の増加が今後も期待されます。</p>								
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	備考
空き家バンク登録物件の契約成立件数 【移住交流推進課調】	目安値		50	55	60	60	60	件/年	※再掲 基本目標 ②(2)イ
	実績値	45	75	70	39	34	32		
	進捗区分		順調	順調	努力を要する	努力を要する	未達成		
進捗状況の分析	<p>空き家バンクの掲載物件数がピーク時と比べ少ないため、成立件数も伸びず目標値を達成できませんでした。</p> <p>今後は、宅建協会と連携し物件数の掘り起こしを行います。</p>								

主な成果

●無居住家屋等実態調査の実施

・増加する空き家等の対策を推進するため、現地調査及び意向調査を実施

＊市内推定空き家数 2,947軒 世帯数に対する空き家数の割合 7.0% (R1.12.28現在)

(3) 住民が地域防災・防犯の担い手となる環境の確保

ア ICT等を活用した災害対策の推進

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
一斉通報・連絡システムの登録者数	目安値		600	1,200	1,800	2,400	3,000	人
【広報広聴課調】	実績値	—	2,190	2,336	2,780	3,592	4,224	
※H27開設	進捗区分		順調	順調	順調	順調	達成	
進捗状況の分析	令和元年東日本台風以降登録する方の伸びが顕著であり、防災に関する情報のニーズが高まったものと考えられ、目標値を達成しました。							

主な成果

●佐久市情報配信サービス「さくネット」の運用

・防災・気象情報、防犯情報等の市民が希望する情報を、固定電話、携帯電話、パソコンメール、携帯メール、スマホ等アプリ、FAXの中から、受信者が希望する媒体で、一斉配信を行う

・まちづくり講座や防災行政無線の地区説明会等に併せて「さくネット」加入促進を図る
(平成27年度から開始、平成30年度からJアラートと一部連携)

●公共無線LAN(Wi-Fi)環境の整備

・非常時における情報収集手段の拡充を図るため、災害対応の強化が必要となる公園等の施設や、防災拠点となる官公署、指定避難所など41施設に公衆無線LAN(Wi-Fi)環境を整備

イ 自主的な防災・消防活動への支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
自主防災組織数	目安値		235	235	235	235	237	組織
【危機管理課調】	実績値	235	235	235	235	236	236	
	進捗区分		順調	順調	順調	順調	概ね達成	
進捗状況の分析	236区で組織化が図られ、概ね目標値を達成しました。 残り4区については、区の実情により組織化できないことを確認しました。							

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
消防団員の充足率	目安値		97.6	98.3	99.0	99.7	100.0	%
【危機管理課調】	実績値	96.9	98.0	98.3	99.6	98.8	97.6	
※条例定数に対する充足率	進捗区分		順調	順調	順調	概ね順調	概ね達成	
進捗状況の分析	機能別団員制度の創設、また、団幹部と情報共有をし、未加入者に対する勧誘と併せ、市ホームページ・佐久ケーブルテレビ・FMさくだいらを活用した募集を図り、概ね目標値を達成しました。							

主な成果

● 地域における減災・防災に係る取組の促進

* 防災訓練を実施した自主防災組織(区)数

令和元年度実績 131組織

(平成30年度実績 156組織)

(平成29年度実績 151組織)

(平成28年度実績 158組織)

● 消防団員の確保

・イベントにおける募集チラシの配布等の呼びかけにより、地域の防災力確保の要である消防団員の確保を推進

* 消防団員実員数

令和元年度実績 1,799人

(平成30年度実績 1,819人)

(平成29年度実績 1,835人)

(平成28年度実績 1,810人)

● 消防団の装備品の充実

・「消防団の装備の基準(H26.2.7改正)」に基づき、安全装備品や救助活動用資機材等の配備を充実し、災害時における消防団の対応力を強化

* 配備実績

令和元年度実績 ヘッドライト(新規配備)

(平成27～29年度実績 救助用半長靴、耐切創製手袋、背負式消火水囊、チェーンソー、防塵メガネ、防塵マスク
防寒衣(平成27～29年度の3か年で全分団及び全団員に配備を実施))

● 消防団施設の整備

・老朽化した小型動力ポンプ付積載車等の配備を計画的に実施

* 整備実績

令和元年度実績 小型動力ポンプ付積載車 3台(東地、平井、矢嶋)

小型動力ポンプ 5台(下平尾、三塚・泉野、大地堂、杉ノ木、比田井)

(平成30年度実績 小型動力ポンプ付積載車 2台(御馬寄、中原)

小型動力ポンプ 5台(太田部、式部、長者原、協東))

(平成29年度実績 小型動力ポンプ付積載車 2台(上平尾、御牧原(浅科))

小型動力ポンプ 5台(下宿・荒田、太田部、式部、長者原、協東))

(平成28年度実績 小型動力ポンプ付積載車 3台(長土呂、臼田住吉、堀端)

小型動力ポンプ 5台(黒田、牧布施、向反、天神、大谷地))

ウ 防犯対策の推進

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	— (基準値)	H30	R1 (目標値)	単位
防犯灯のLED化率 【総務課調】	目安値		100	100	%
	実績値	—	97.7	99.8	
	進捗区分		概ね順調	概ね達成	
進捗状況の分析	電信柱の使用基準を満たさない既設防犯灯の移設先がないこと、一般家屋の軒下にあり家主との調整を要する等、単純な交換作業では対応できない案件が生じましたが、概ね目標値を達成しました。				

(4) ふるさとづくりの推進

ア ふるさとと世界を知る子どもの育成

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
青少年育成活動件数 (計画期間の累計) 【生涯学習課調】 ※H26実績:5,306件/年	目安値		5,500	11,000	16,500	22,000	27,500	件
	実績値	—	5,372	10,398	15,404	20,203	24,030	
	進捗区分		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね達成	
進捗状況の分析	児童数の減少による影響より、各地区における青少年育成活動件数が減少傾向にありますが、概ね目標値を達成しました。 各地区における青少年育成活動について更なる活発化が図れるよう支援を強化する必要があります。							

主な成果

● 地区育成活動の推進

・地域の特性を生かした地域ぐるみの青少年育成事業を実施している各地区育成会に対し、補助金を交付

＊ 地域体験活動補助金

令和元年度実績 148件
 (平成30年度実績 146件)
 (平成29年度実績 153件)
 (平成28年度実績 138件)

● 学校給食応援団～地産地消と食育を推進～

・佐久、臼田、浅科、望月の各地域において、学校給食応援団の活動により地産地消と食育を推進

● 青少年の人材育成のための国際交流の実施

・佐久市内の中学生を対象とした海外研修や、姉妹都市・友好都市の子どもたちの受入を実施

＊ 中学生海外研修

令和元年度実績 エストニア共和国 8人 モンゴル国 6人
 (平成30年度実績 エストニア共和国 8人 モンゴル国 7人)
 (平成29年度実績 エストニア共和国 8人 モンゴル国 8人)
 (平成28年度実績 アメリカ合衆国 8人 モンゴル国 8人)

＊ 子ども交流研修 受入実績

令和元年度実績 エストニア共和国サク市から8人、モンゴル国スフバートル区から6人
 (平成30年度実績 エストニア共和国サク市から8人、モンゴル国スフバートル区から8人)
 (平成29年度実績 エストニア共和国サク市から8人、モンゴル国スフバートル区から8人)
 (平成28年度実績 エストニア共和国サク市から7人)

イ 生涯学習環境の整備と活動の促進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況								
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
「生涯学習」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	32.7	—	35.0	36.0	%
	実績値	30.3	—	35.4	—	35.5	36.8	
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし	順調	達成	
進捗状況の分析	比較的生涯学習活動に参加しやすい子どもや高齢者をターゲットに設定し、学習機会を提供してきたことで、目標値を達成しました。 ※満足度・重要度市民アンケートはH29年度まで隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります（H30年度以降は毎年度実施）。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。							

主な成果	
<p>● 高齢者大学・大学院の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の方が生きがいを見つけたり、仲間づくりができる機会を提供 * 活動の状況 <ul style="list-style-type: none"> 《高齢者大学》 令和元年度実績 18回開催 延参加者数 2,622人 （平成30年度実績 18回開催 延参加者数 2,897人） （平成29年度実績 18回開催 延参加者数 2,875人） （平成28年度実績 18回開催 延参加者数 2,722人） 《高齢者大学大学院》 令和元年度実績 13回開催 延参加者数 189人 （平成30年度実績 13回開催 延参加者数 241人） （平成29年度実績 13回開催 延参加者数 190人） （平成28年度実績 12回開催 延参加者数 226人） 	
<p>● 佐久市文化振興基金の運用益による文化振興事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化振興基金の運用益を活用した「キッズ・サーキット」を開催し、若い親子世代が楽しみながら学べる機会を提供 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度実績 R1.8.2～8.4(3日間) 16演目 延来場者数 4,950人 （平成30年度実績 H30.8.3～8.5(3日間) 21演目 延来場者数 5,310人） （平成29年度実績 H29.8.4～8.6(3日間) 19演目 延来場者数 5,612人） （平成28年度実績 H28.8.5～8.7(3日間) 22演目 延来場者数 4,879人） 	
<p>● 図書館サービスの充実と読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> * 読書通帳の発行数 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度実績 1,098冊 （平成30年度実績 1,205冊） （平成29年度実績 1,246冊） （平成28年度実績 1,191冊） * 「ちいさい子のおはなし会」の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度からサングリモ中込において不定期(火曜・金曜)開催 ・平成29年度から臼田において隔月開催 * セカンドブック事業の開始(H29.8～) * インターネット予約サービスの開始(H27.11～) <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度末までの登録者数 1,111名 （平成30年度末までの登録者数 860名） （平成29年度末までの登録者数 666名） 	

*夏休み期間中の行事の充実

- ・令和元年度から「理科読」7月29日・30日開催 参加者45名
- ・夏休みワクワク子ども実験室(中央図書館のみ) 参加者20名(平成30年度参加者20名)

*移動図書館(草笛号)の更新(H30.4)

*移動図書館(草笛号)のステーション増設

令和元年度実績 臼田(うすだ愛の郷)に1か所(R1.6～)、平賀区(ひらか愛の郷)に1か所(R1.10～)、
下県西区(結の里千曲)に1か所(R1.11～)増設

(平成30年度実績 臼田(うすだ健康館)に1か所増設(H30.1～))

令和元年度 地方創生関係交付金事業の実施結果

地方創生推進交付金（1/2）活用事業

ア 交流と協働で織りなす夢をかなえるまちコンパクトシティ臼田とCCRC事業の構築

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別評価	H27 (基準値)	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	備考
移住促進センターにおける相談者のうち佐久市への移住者数	目安値	/	200	200	200	40	人世帯	・R元年度中のサ高住開所まで(H28～30)は、移住相談件数を目標値として設定 ・R元年度は移住者数(サ高住への入居決定者数)を目標値として設定
	実績値	0	155	100	124	0		
	進捗区分	/	努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する		
	年度別評価	/	/	/	/	/		
サ高住等における新たな雇用者数	目安値	/	0	0	0	15	人	サ高住はR元年度開所
	実績値	0	0	0	0	0		
	進捗区分	/	実績値なし	実績値なし	実績値なし	未達成		
	年度別評価	/	/	/	/	/		
公共施設の活用件数	目安値	/	0	0	0	1	件	サ高住はR元年度開所
	実績値	0	0	0	0	1		
	進捗区分	/	実績値なし	実績値なし	実績値なし	達成		
	年度別評価	/	/	/	/	/		
進捗状況の分析	移住促進センターへの委託がH30年度で終了したため、相談を行うことができず、また、サ高住への入居者が決まっていないため、雇用もなく目標値を達成できませんでした。 今後はサ高住のPRを積極的に行い入居者の獲得を図ります。							
地域再生計画期間終了後の取組方針	引き続き、PRに努めるとともに、イベント等の開催を通じ達成に努めます。 なお、当該事業に係る目標は当初、H30を最終年度として設定していましたが、事業の進捗状況によりサ高住の開所がR1にずれ込む見込みとなったことから、H30までの目標はH29と同様の移住相談件数(200件)とし、R1の目標を移住者数(40人)へ変更しました。							

イ ジャパンブランド「健康長寿」推進事業 ～"SAKU Health-caRe model"の構築・展開を目指して～

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	H27 (基準値)	H28	H29	H30	R1	R2 (目標値)	単位	
保健医療のシステムやヘルスケア関連機器等の海外輸出につながった件数(累計)	目安値		0	2	4	7	10	件	
	実績値	0	0	0	1	4			
	進捗区分		実績値なし	努力を要する	努力を要する	努力を要する			
指標名	年度別評価	H27 (基準値)	H28	H29	H30	R1	R2 (目標値)	単位	
「健康長寿」に関連した新たな事業(創業、新規事業、新製品・新技術の開発、新規立地等)創出件数(累計)	目安値		0	2	5	10	20	件	
	実績値	0	3	6	18	29			
	進捗区分		順調	順調	順調	順調			
進捗状況の分析	H28に佐久市健康長寿産業振興ビジョン及び佐久市健康長寿まちづくり計画を策定するとともに、H30(6月)には一般社団法人佐久産業支援センターを設立し、ヘルスケア関連産業や「健康長寿」を生かした新たな事業等の創出・拡大に努めているところです。R1は、新たに海外輸出へつながった事例が3件、新製品の開発が4件、創業が3件、新事業が4件あり、「健康長寿」という強みや市の取組が市内企業等に着実に浸透し、ヘルスケア関連の事業に対する意欲が高まっているものと考えられます。								
今後の取組方針	H30(6月)に一般社団法人として立ち上げた「佐久産業支援センター」において新製品・新技術の開発、販路拡大等を支援することにより、ヘルスケア関連機器等の海外輸出及び「健康長寿」に関連した新たな事業創出件数の増加に努めます。								

ウ 佐久市シティプロモーション推進事業～シルクルスムサイクルによる「健やかなくらし佐久」～

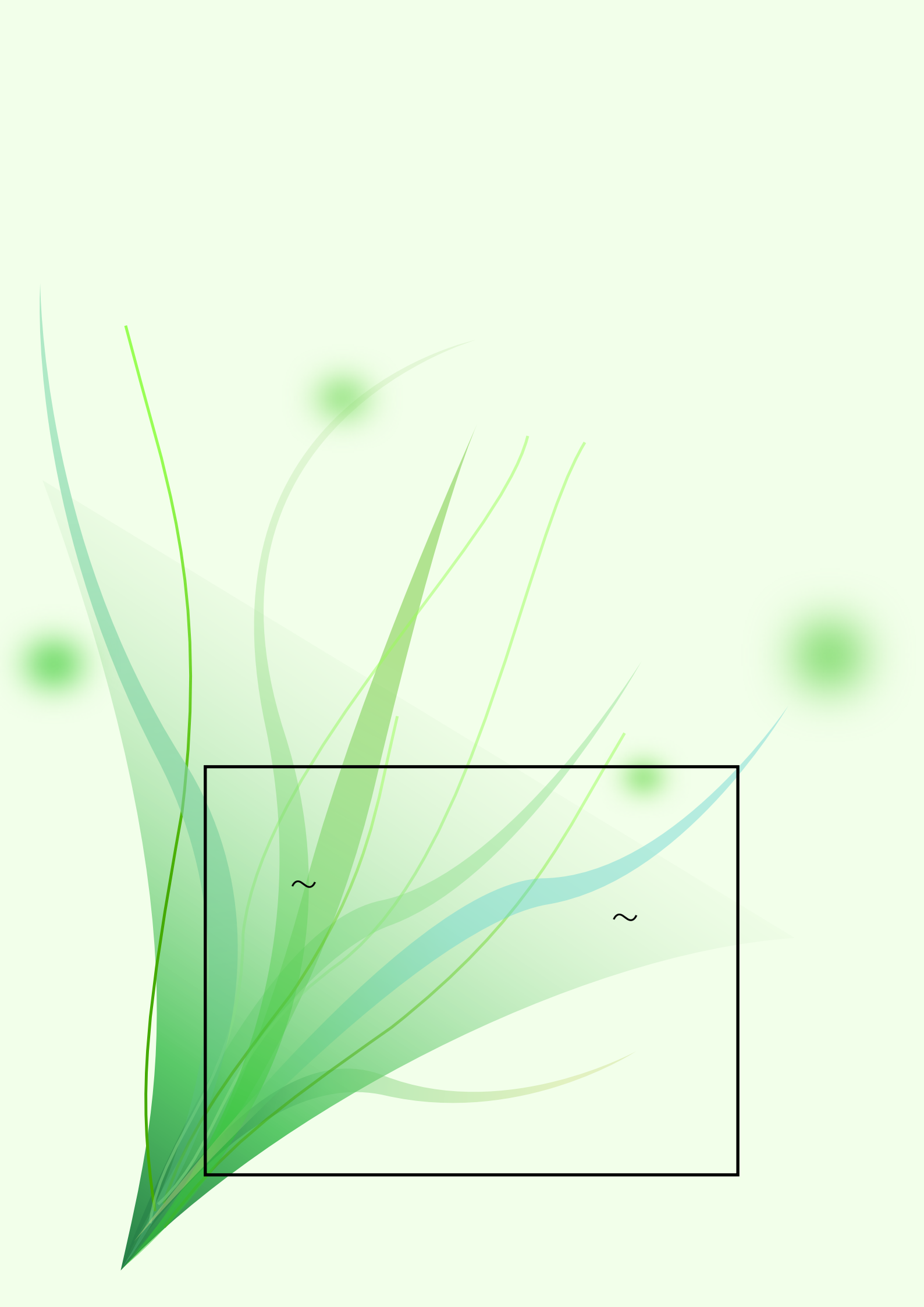
重要業績評価指標（KPI）の進捗状況						
指標名	年度別評価	H30 (基準値)	R1	R2	R3 (目標値)	単位
東京圏からの20代から40代の移住者数(累計)	目安値		24	39	57	人
	実績値	12	25			
	進捗区分		順調			
指標名	年度別評価	H30 (基準値)	R1	R2	R3 (目標値)	単位
佐久市の認知度(対象:東京圏在住20代～40代)	目安値		45.6	50.0	55.0	%
	実績値	41.6	39.8			
	進捗区分		努力を要する			
指標名	年度別評価	H30 (基準値)	R1	R2	R3 (目標値)	単位
佐久市への来訪者指数(対象:東京圏在住20代～40代)	目安値		23.6	44.0	47.0	%
	実績値	21.6	20.6			
	進捗区分		努力を要する			
指標名	年度別評価	H30 (基準値)	R1	R2	R3 (目標値)	単位
シビックプライドポイント(誇り指数)	目安値		20.0	21.0	25.0	ポイント(pt)
	実績値	19.0	29.8			
	進捗区分		順調			
進捗状況の分析	昨年度は市の卓越性である「医療」をテーマに、ぴんころ地蔵を用いた地蔵健診や移住ウェブマガジンへの医療特集記事の掲載を行い、認知度の向上等に取り組みました。効果検証のアンケートでは、市民のシビックプライドの上昇は見られましたが、認知度・来訪者数の指標が横ばいでした。					
今後の取組方針	効果検証アンケートで「認知度・来訪者」の指標が横ばいであったことから認知度を向上させるための取組みを継続し、認知度の向上に努めます。 R2は、「シルクルスムサイクル」の「クル」に重点を置く取組も予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、実際の来訪・体験に替わる取組(例えば、オンライン上での来訪等)を検討します。					

エ 佐久市「しごと」の創生（創業支援・まるっとテレワーク推進）事業

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況						
指標名	年度別評価	H30 (基準値)	R1	R2	R3 (目標値)	単位
首都圏等からのU・I・J ターンによる創業者数 (累計)	目安値		2	6	10	人
	実績値	0	4			
	進捗区分		順調			
指標名	年度別評価	H30 (基準値)	R1	R2	R3 (目標値)	単位
支援事業を通じた「女 性起業スタートアップ事 業講座」への参加者数 (累計)	目安値		12	24	36	人
	実績値	0	23			
	進捗区分		順調			
指標名	年度別評価	H30 (基準値)	R1	R2	R3 (目標値)	単位
支援事業施設における サテライトオフィス契約 企業数(累計)	目安値		2	4	6	社
	実績値	0	3			
	進捗区分		順調			
指標名	年度別評価	H30 (基準値)	R1	R2	R3 (目標値)	単位
支援事業施設における 市外テレワーカー利用 者数	目安値		20	60	100	人
	実績値	0	88			
	進捗区分		順調			
進捗状況の分析	<p>R1中に予定していた市有施設のテレワーク施設への改修や施設運営体制の構築が完了し、R2(4月)からのテレワーク施設「ワークテラス佐久」の本格オープンにつなげることができました。</p> <p>創業支援に関しても、改修中の施設等を利用し、「子育てと両立できるマイプロジェクト講座」及び「テレワークスキルアップ講座」を各3回とその後の「フォローアップ講座」を1回開催。これにより、R1は23名講座参加、延べ88名のテレワーカーによる施設利用、4件の創業がありました。また、新たに整備したサテライトオフィスについては、利用開始はR2年(4月)以降になるが、R1中に3件の利用契約を獲得しました。</p> <p>いずれのKPIも目安値を上回る実績値となっており、順調に事業が進捗しているものと考えます。</p>					
今後の取組方針	<p>R1(4月)から指定管理者による「ワークテラス佐久」の管理運営を開始し、当施設における新たなサテライトオフィス契約企業やテレワーク利用者の獲得及び創業の促進を図っていきたく考えますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の利用を一部制限している部分もあり、感染拡大防止を徹底した上での事業展開を図っていきます。</p>					

オ 福祉・介護のつばさ事業～「アジア健康構想」に基づく外国人材還流の創出による佐久式介護のアジア展開～

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況								
指標名	年度別評価	H30 (基準値)	R1	R2	R3	R4	R5 (目標値)	単位
支援事業による地域事業者の福祉・介護関係の海外展開案件の創出件数(累計)	目安値		0	1	2	3	5	件
	実績値	0	0					
	進捗区分		実績値なし					
支援事業を通じた地域事業者による外国人材の受入れ人数(累計)	年度別評価	H30 (基準値)	R1	R2	R3	R4	R5 (目標値)	単位
	目安値		10	30	50	70	100	人
	実績値	0	22					
進捗区分		順調						
支援事業による福祉・介護関係の新製品・新技術の開発件数(累計)	年度別評価	H30 (基準値)	R1	R2	R3	R4	R5 (目標値)	単位
	目安値		0	0	0	2	5	件
	実績値	0	0					
進捗区分		実績値なし						
支援事業による地域住民の予防・健康づくりに係る意識改革・行動変容を促進するイベント等への参加者数(累計)	年度別評価	H30 (基準値)	R1	R2	R3	R4	R5 (目標値)	単位
	目安値		0	0	0	80	240	人
	実績値	0	0					
進捗区分		実績値なし						
進捗状況の分析	R1は「福祉・介護のつばさ連絡会議」を立ち上げ、事業コーディネーターを配置し本事業をスタートさせました。初年度は、外国人介護人材の確保と定着のための官民連携による推進体制の構築を進めるため、佐久地域の介護事業者向けの研修会や、生活ガイドブックの制作など、外国人介護人材の受入れ体制の構築を進めました。また、介護事業者向けのアンケート調査では、受入れに関心のある事業者は84%にのぼり、非常に関心の高いことが伺え、今後、受入れが進むものと考えられます。							
今後の取組方針	佐久大学と連携し外国人材の通勤環境の整備や日本語語学教室の開催など、生活のための支援などを追加し、1年目に構築した受け入れ体制の充実を図ります。							



令和元年度
佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略
～若い世代の希望をかなえ
選ばれるまちを目指して～
評 価 報 告 書
令和2年6月

発行 佐久市
編集 企画部 企画課